

令和2年度 事業報告書

みんなのひと



社会福祉
法人

相模原市社会福祉協議会

目 次

令和2年度 事業実施概要	ページ 1 ~ 3
実施事業報告	4 ~ 74

①法人運営事業

	事業名	ページ
1	一般会員の加入促進	5
2	理事会等の開催	
3	苦情解決事業	
4	事務局の運営	11
5	共同募金会相模原市支会の運営	
6	相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援	15
7	相模原市地区社会福祉協議会の運営支援	16
8	部会活動推進事業	
9	委員会の開催	17
10	福祉のしごと・魅力発信事業	
11	広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行	18
12	相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催	20
13	賛助会員募集事業	
14	録音・点字版社協さがみはらの発行	
15	マスコットキャラクターを活用したPR	21
16	寄付促進推進事業	

②地域福祉推進事業

	事業名	ページ
1	地区社協情報コーナーの設置	22
2	福祉情報ネットワーク推進事業	
3	地域の支えあい応援事業(地域福祉推進員の設置)	
4	地域の支えあい応援事業(地域福祉支援員の設置)	
5	地域の支えあい応援事業(賛助会員会費の配分)	
6	地域の支えあい応援事業(サロン活動支援事業)	
7	福祉コミュニティ形成事業	
8	交通遺児援護事業	28
9	南区地域福祉交流ラウンジの運営	
10	民生委員・児童委員研修事業	30
11	ボランティアチャレンジスクールの開催	
12	福祉教育活動推進事業	31
13	ふれあいデイホーム事業	33
14	インターネット等活用福祉情報提供事業	
15	地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)	34
16	災害見舞金の支給	
17	就職支度費等一時給付事業(生活困窮者世帯就職活動応援事業)	
18	食料品等緊急一時給付事業	35
19	生活困窮者支援団体応援事業	
20	子ども健やか育成事業	
21	子どもの居場所創設サポート事業	36
22	市民活動育成支援事業	38

	事業名	ページ
23	ボランティアセンター運営事業	39
24	いるかバンクの運営	40
25	防災ボランティア推進事業	41
26	ささえあいセンターの運営	42
27	ボランティア協会活動助成	43
28	地区住民相談支援活動推進事業	44
29	生活支援体制整備事業	47

③あんしんセンター事業

	事業名	ページ
1	法人後見事業	52
2	権利擁護事業 1) 日常生活自立支援事業	53
	2) 成年後見制度利用促進事業	55
3	市民後見人養成事業	57

④在宅福祉推進事業

	事業名	ページ
1	ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業	59
2	福祉用具無料貸出事業	60
3	相模原身体障害者用福祉車両(あじさい号)運行事業	61
4	津久井地域移動支援サービス事業	
5	ファミリー・サポート・センター事業	62
6	生活福祉資金の貸付事務	64
7	生活資金一時貸付事業	65
8	要介護世帯生活資金貸付事業	66
9	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	
10	社会福祉事業振興資金貸付事業	67

⑤住民参加推進事業

	事業名	ページ
1	ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業	68
2	要介護認定調査事業	69
3	介護支援ボランティア事業	
4	福祉従事者メンタルヘルス相談事業	70

⑥市民福祉会館運営事業

	事業名	ページ
1	あじさい会館管理運営事業	71
2	あじさい会館南分室(南保健福祉センター内)	73
3	あじさい会館緑分室(緑区合同庁舎内)	74

⑦収益事業

	事業名	ページ
1	飲料水等販売・自動販売機等運営事業	74

令和2年度 事業実施概要

1 はじめに

本年度は、令和2年度から令和5年度を計画期間とする、「第9次相模原市社会福祉協議会地域福祉活動計画（以下「第9次計画」）」の初年度に当たりませんが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、地域福祉に関わる様々な事業が休止や縮小を余儀なくされるとともに、これまで本会が進めてきた人と人との対面を基本とする福祉サービスのあり方も見直さざるを得ない状況となりました。

このような状況の中、コロナ禍での「人と人とのつながりづくり」を推進するため、高齢者等の見守り活動やふれあい活動、子ども・若者の居場所づくりなどの「支えあい活動」について、地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員をはじめ、地域の皆様、市民福祉活動団体等と情報を共有しながら、「新しい生活様式」に対応した、新たな取組を進めました。

また、権利擁護の総合的な支援の充実に向け、認知症や知的障がい、精神障がい等で日常生活において支援が必要な方を支える「成年後見制度」の利用促進を図るための「権利擁護支援の地域連携ネットワーク」の構築について、相模原市とともに準備を進めました。さらに、身寄りがない、あるいは、家族や親族からの支援を受けにくい高齢者等が抱える「制度の狭間の問題」の解決に向け、新たな支援策の構築に向けた検討を進めました。

2 重点的な取組

(1) 小地域の支えあい活動の促進

ア 新型コロナウイルス感染症の影響により、22地区社会福祉協議会を中心とした市民による支えあい活動が休止・縮小されるなか、コロナ禍における「人と人とのつながりづくり」に向けた新たな取組を模索するとともに、各地区における取組事例をまとめ、市民に広く発信しました。

イ 22地区社会福祉協議会を中心に取り組まれている「福祉コミュニティ形成事業」をはじめとする小地域の支えあい活動を通じて、潜在する「困りごと」や地域の福祉課題を把握し、共有する場づくりを、コミュニティソーシャルワーカー等による支援を通じて促進しました。

福祉コミュニティ形成事業補助金を活用する
主な「小地域の支えあい活動」の実施及び検討状況

居場所	見守り活動	個別ニーズ 対応	地域活動拠点	その他
16	4	10	8	3

(2) 被災された方々への福祉的な支援の推進

令和元年東日本台風（台風第19号）により被災された方々の不安の解消や孤立・孤独の防止等を図るため、城山、津久井、相模湖及び藤野の4地区に「ささえあいセンター」を開設し、被災された方々を支える個別支援や地域づくりに取り組みました。

- ささえあいセンター相談員の配置 4名
- 延べ支援対象者数 189人

(3) 「子ども・若者支援活動団体」相互の連携・協働の促進

福祉的な課題を抱える子ども・若者の居場所づくり、社会参加の場づくりの促進を図るため、「子ども健やか育成基金」等を活用し、市民福祉活動団体の取組に助成するとともに、団体相互の情報交換、課題共有の場を設定するなど、連携・協働の促進に取り組みました。

生活困窮者支援市民福祉活動団体への助成実績

助成事業	助成金交付団体	助成金交付額
子ども健やか育成事業	27団体	5,387,748円
生活困窮者支援団体応援事業	6団体	1,281,662円
市民活動育成支援事業	14団体	969,235円

(4) 高齢者・障がい者等の権利擁護の総合的な支援事業の推進

ア 「さがみはら成年後見・あんしんセンター」を設置し、権利擁護相談や成年後見制度利用促進事業、法人後見事業、日常生活自立支援事業等に取り組むことで、認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方、その家族が地域で安心して暮らしていくための支援を行いました。

主な成年後見制度利用促進事業の実績

成年後見一般相談（職員対応）	405件
成年後見専門相談の実施	月4回（相談件数72人）
成年後見制度市民公開講座（相談会のみ）	年3回（参加人数30人）

法人後見事業受任実利用者数

認知症高齢者	障がい者		合計
	知的	精神	
13人	6人	5人	24人

日常生活自立支援事業実利用者数

認知症高齢者	障がい者			その他	合 計
	知的	精神	身体		
58 人	27 人	69 人	8 人	2 人	164 人

イ 相模原市の「成年後見制度利用促進基本計画」に位置づけられる「権利擁護支援のための地域連携ネットワーク協議会」の設立準備会等に参画し、関係士業団体及び家庭裁判所、行政機関と共に、成年後見制度の利用促進や中核機関の設置・運営等について協議しました。

ウ 身寄りがなく、身元保証人等がない高齢者等に対する入院、施設入所等への支援、また、本人の死亡時の埋葬や家財の処分等を支援するサービスの構築に向けた検討を進めました。

(5) 寄付等を通じた市民・企業などの福祉活動への参加の促進

ア 企業等の本業や持ち味を生かした社会貢献活動の促進を図るため、地域の「困りごと」の解決に向けた、寄付金や社員によるボランティア活動等の社会貢献活動の提案と活動の成果の市民周知に取り組みました。

- 「企業・法人の本業や持ち味を生かした福祉活動」の周知
 - ・社協さがみはら「みんないいひと」全市版への連載 年6回
 - ・ホームページへの掲載

イ 遺産の福祉活動への活用を希望する方に対する遺贈による寄付の促進を図るため、広く市民に遺贈の意義や遺贈に係る手続等の周知に取り組みました。

- 遺贈による寄付等の周知
 - ・ホームページへの掲載

(6) 新型コロナウイルス感染症の影響による本会の取組

新型コロナウイルス感染症の影響による休業・失業等により収入が減少した世帯を対象に、生活福祉資金貸付制度における「緊急小口資金」及び「総合支援資金（生活支援費）」の特例貸付の相談、申込受付等を実施しました。（実施主体 神奈川県社会福祉協議会）

実 施 事 業 報 告

凡 例：事業名の次行右に財源名(括弧書き)及び執行済額を記載
補助 市・県社協補助金
共募 共同募金配分金
受託 市・県社協受託金
自主 自主財源(賛助会費、寄付金、事業収入等)

① 法人運営事業

1 一般会員の加入促進

一般会員内訳

種 別	会員区分	会員数	令和2年度 新規加入数
第1種会員	地区社会福祉協議会	22	—
第2種会員	地区自治会連合会	22	—
第3種会員	地区民生委員児童委員協議会	22	—
第4種会員	ボランティア・市民活動を行う団体	17	—
第5種会員	高齢者福祉を目的とする施設及び団体	64	—
第6種会員	障がい福祉を目的とする施設及び団体	103	—
第7種会員	児童福祉を目的とする施設及び団体	93	—
第8種会員	学識経験者	9	—
第9種会員	関係行政機関	4	—
合 計		356	—

2 理事会等の開催

(自主) 258,433 円

組織体制

役員等	人 数
理 事	15 人
監 事	2 人
評議員	31 人

理事会の開催 (4回)

開催月日	出席者	内 容
<第1回> 令和2年6月10日(水)	決議の省略 理事 14 人 監事 2 人	議案第1号 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業報告及び決算並びに監査報告について
		議案第2号 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について
		議案第3号 一般会員の推薦について
		議案第4号 評議員選任候補者の同意について
		議案第5号 評議員会の招集について

		報告第1号	専決処分の報告について（令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第5号））
		報告第2号	専決処分の報告について（令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算（第1号））
		報告第3号	令和元年度資金運用結果について
<第2回> 令和2年10月16日（金）	理事 12人 監事 2人	議案第6号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和2年度顕彰者の決定について
		議案第7号	福祉従事者メンタルヘルス相談事業の受託について
		議案第8号	令和2年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算（第1号）について
		議案第9号	社会福祉充実計画の策定について
		議案第10号	評議員会の招集について
		報告第4号	会長及び常務理事の執行状況について
		報告第5号	専決処分の報告について（令和2年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第1号））
		報告第6号	指導監査結果に係る対応について
<第3回> 令和3年1月27日（水）	決議の省略 理事 15人 監事 2人	議案第11号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について
		議案第12号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務局の組織及び職制に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第13号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部を改正する規程について
		議案第14号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について
		議案第15号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について
		議案第16号	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について

		<p>議案第 17 号 令和 2 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算（第 2 号）について</p> <p>議案第 18 号 成年後見制度利用促進事業に係る中核機関運営業務の受託について</p> <p>議案第 19 号 令和 3 年度あじさい基金等資金運用計画の策定について</p> <p>議案第 20 号 評議員会の招集について</p> <p>報告第 7 号 身体障害者福祉車両等運行事業（身体障害者用福祉車両あじさい号運行事業）の受託終了について</p> <p>報告第 8 号 相模原市高齢者及び身体障害者移動支援サービス事業の受託終了について</p> <p>報告第 9 号 組織体制検討委員会の設置について</p>
<p><第 4 回> 令和 3 年 3 月 18 日（木）</p>	<p>理事 10 人 監事 1 人</p>	<p>議案第 21 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について</p> <p>議案第 22 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会役員選任規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第 23 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の全部を改正する規程について</p> <p>議案第 24 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会委員会規程の全部を改正する規程について</p> <p>議案第 25 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務専決規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第 26 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第 27 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第 28 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第 29 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について</p>

		議案第 30 号 令和 3 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協 議会事業計画及び予算について
		議案第 31 号 生活資金一時貸付けの償還免除について
		議案第 32 号 役員等賠償責任保険契約について
		議案第 33 号 評議員会の招集について
		議案第 34 号 事務局長の選任について
		報告第 10 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会強化発 展計画について
		報告第 11 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について
		報告第 12 号 組織体制検討委員会開催結果について

監査の実施（1回）

開催月日	出席者	内 容
令和 2 年 5 月 22 日（金）	監 事 2 人	監査の対象 令和元年度に執行した事業及び財産に関する収支書類

評議員会の開催（4回）

開催月日	出席者	内 容
<第 1 回> 令和 2 年 6 月 26 日（金）	決議の省略 評議員 31 人	議案第 1 号 令和元年度社会福祉法人相模原市社会福祉協 議会事業報告及び決算並びに監査報告につい て 議案第 2 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤 職員等就業規程の一部を改正する規程につい て 議案第 3 号 役員の選任について 報告第 1 号 専決処分の報告について（令和元年度社会福 祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業 区分補正予算（第 5 号）） 報告第 2 号 専決処分の報告について（令和元年度社会福 祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分 補正予算（第 1 号）） 報告第 3 号 令和元年度資金運用結果について

<p><第2回> 令和2年10月28日(水)</p>	<p>評議員 24人</p>	<p>議案第4号 福祉従事者メンタルヘルス相談事業の受託について</p> <p>議案第5号 令和2年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会公益事業区分補正予算(第1号)について</p> <p>議案第6号 社会福祉充実計画の策定について</p> <p>報告第4号 会長及び常務理事の職務の執行状況について</p> <p>報告第5号 専決処分の報告について(令和2年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第1号))</p> <p>報告第6号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会顕彰規程に基づく令和2年度顕彰者について</p> <p>報告第7号 指導監査結果に係る対応について</p>
<p><第3回> 令和3年2月5日(金)</p>	<p>決議の省略 評議員 31人</p>	<p>議案第7号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について</p> <p>議案第8号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務局の組織及び職制に関する規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第9号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第10号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第11号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第12号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について</p> <p>議案第13号 令和2年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会社会福祉事業区分補正予算(第2号)について</p> <p>議案第14号 成年後見制度利用促進事業に係る中核機関運営業務の受託について</p> <p>報告第8号 身体障害者福祉車両等運行事業(身体障害者用福祉車両あじさい号運行事業)の受託終了について</p>

		報告第 9 号 相模原市高齢者及び身体障害者等移動支援サービス事業の受託終了について 報告第 10 号 組織体制検討委員会の設置について 報告第 11 号 令和 3 年度あじさい基金等資金運用計画について
<第 4 回> 令和 3 年 3 月 29 日(月)	評議員 27 人	議案第 15 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会定款の変更について 議案第 16 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会役員選任規程の一部を改正する規程について 議案第 17 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の全部を改正する規程について 議案第 18 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会委員会規程の全部を改正する規程について 議案第 19 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事務専決規程の一部を改正する規程について 議案第 20 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会職員就業規程の一部を改正する規程について 議案第 21 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員就業規程の一部を改正する規程について 議案第 22 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会非常勤職員等就業規程の一部を改正する規程について 議案第 23 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員等の育児・介護休業等に関する規程の一部を改正する規程について 議案第 24 号 令和 3 年度社会福祉法人相模原市社会福祉協議会事業計画及び予算について 議案第 25 号 生活資金一時貸付けの償還免除について 報告第 12 号 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会強化発展計画について 報告第 13 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 報告第 14 号 組織体制検討委員会開催結果について 報告第 15 号 役員等賠償責任保険契約について 報告第 16 号 事務局長の選任結果について

3 苦情解決事業

(自主) 11,340 円

提供するサービスや事業に対する市民からの苦情、要望等に適切に対応した。

苦情受付内容

事業名	件数
市民福祉会館管理運営事業	1件
福祉車両等運行事業	1件
生活福祉資金貸付事業	3件
地区住民相談支援活動事業	1件
ファミリーサポートセンター事業	1件
福祉従事者メンタルヘルス相談事業	1件
その他	1件
合計	9件

4 事務局の運営

(補助・自主) 474,067,055 円

1) 事務局運営

市民福祉活動支援、権利擁護に係る利用者支援及び関係機関・団体とのネットワーク構築に必要となる個別支援、連絡調整等に係る人員の確保に向け、事務事業の見直しを進めた。

職員体制

職名	人数
固有職員	52人
嘱託職員	7人
非常勤職員	172人
合計	231人

事務局体制

事務局
○総務課 企画財政係、総務係、あじさい会館
○福祉推進課 地域支援係、市民活動係
○さがみはら成年後見・あんしんセンター
○緑区事務所 城山地域事務所 津久井地域事務所 相模湖地域事務所 藤野地域事務所
○南区事務所

職員研修の実施

開催月日	参加	内容
令和2年12月23日(水)	固有職員 (主任・主事)	主任・主事研修 テーマ 「地域共生社会の実現に向けてできること」 ～10年後の地域の実情を踏まえて～ 10年後の地域の実情を踏まえた視点を持ち「企画力」を育成することを目的に若い層の職員を対象に実施
令和2年12月23日(水)	固有職員 非常勤職員	地域支援担当職員研修 テーマ 「わかりやすい説明の仕方研修」 ～プレゼンテーション偏～ 各会議での進行、参加者や住民の皆さんへの事業説明など、多岐にわたる場面で求められる実践的なプレゼンテーション能力を養うことを目的に地域支援担当職員を対象に実施

2) 情報の公開、事業運営の透明性の確保

理事会や評議員会の議事録等の経営情報や、事業報告・決算及び事業計画・予算等運営状況等の情報をホームページや広報紙等を通じて公開し、事業運営の透明性の確保を図った。

3) 寄付金の受入れ

寄付金の受入れ状況

区分	件数	金額
社会福祉のために	81件	2,878,580円
交通遺児のために	6件	299,700円
高齢者福祉のために	1件	7,000円
障がい福祉のために	1件	5,782円
子ども健やか育成基金のために	30件	51,272,264円
その他	11件	24,000円
合計	130件	54,487,326円

※内1件については、遺贈(50,000,000円)によるもの

4) 寄付物品の受入れ

寄付物品の受入れ状況

区 分	個 人	団 体	合 計
日 用 品	9 件	3 件	12 件
紙 お む つ	9 件	1 件	9 件
福 祉 用 具 等	3 件	1 件	4 件
雑 貨 等	4 件	1 件	5 件
災 害 支 援	2 件	1 件	2 件
コ ロ ナ 感 染 予 防 用 品	2 件	2 件	4 件
食 料 品	6 件	6 件	12 件
衣 類 等	4 件	2 件	6 件
そ の 他	4 件	1 件	4 件
合 計	43 件	15 件	58 件

5) 企業・法人の社会貢献活動の促進のPR

広報紙「社協さがみはら」及びホームページに社会貢献活動の連載記事『企業・法人の本業や持ち味を生かした福祉活動』を掲載した。

企業・法人の本業や持ち味を生かした福祉活動⑪



地域福祉のために寄附を行う
神奈川県LPガス協会相模原支部
齋藤正行支部長(右)

災害対策や公共の福祉に貢献して半世紀！

公益社団法人神奈川県LPガス協会相模原支部(齋藤正行支部長URL <https://www.sagamiharalpg.jp/>)は、地域の福祉向上のために、半世紀にわたって本会に寄附を続けています。また、相模原市に対しても、災害に強いLPガスを燃料とした発電機を、毎年、寄贈しています。

「会員一同、LPガスの事業者として、継続可能な社会貢献とは何かを考えてきました。今は、様々な理由で生活が厳しい方々がいらっしゃいますが、少しでも皆様のお役に立てたら幸いです。」と語られる齋藤支部長。(この続きは、本会ホームページを御覧ください。)

ホームページで、詳しく御紹介しています!

5 共同募金会相模原市支会の運営

共同募金の募集・受配実績

区 分	実績額	県共同募金会からの受配額
赤い羽根募金	30,760,142 円	18,011,268 円
年末たすけあい募金	14,008,138 円	14,008,138 円
合 計	44,768,280 円	32,019,406 円

募金種別の募集実績額内訳

区 分	金 額
戸別募金	40,174,364 円
街頭募金	808,834 円
法人募金	1,886,510 円
学校校内募金	593,975 円
職域募金	897,869 円
その他	406,728 円
合 計	44,768,280 円

受配額の内訳

内 容	金 額
社会福祉施設の支援のために	6,930,000 円
在宅福祉サービス団体等の支援のために	1,200,000 円
本会の事業推進のために	6,211,268 円
年末たすけあい配分事業等に	14,008,138 円
災害見舞金の支給	90,000 円
市支会運営費のために	3,580,000 円
合 計	32,019,406 円

合同会議の開催

実施概要

開催月日	内 容
令和2年4月21日(火) (書 面 評 決)	・ 令和元年度共同募金運動実績報告
令和2年8月31日(月) (書 面 評 決)	・ 令和2年度共同募金運動実施計画(案)について

6 相模原市民生委員児童委員協議会の運営支援

本会に相模原市民生委員児童委員協議会の事務局を置き、民生委員・児童委員の活動支援を行った。

各種会議開催の支援

会議名	回数
総会	1回
常任理事会	12回
役員会	12回
理事会	1回

専門委員会等開催の支援

委員会名	回数
地域福祉推進委員会	1回
児童・子育て支援委員会	1回
主任児童委員連絡会	1回
広報委員会	1回
機関紙編集会議	3回
研修委員会	3回
総会等のあり方検討委員会	5回

研修会開催の支援

開催月日	内容
令和2年8月1日(土)～ 令和3年3月31日(水)	全体研修会 「訪問活動・相談活動の基本について」 ※各地区定例会等において、全民児連の動画による実施
令和2年10月23日(金)	主任児童委員研修会Ⅰ 児童虐待の基礎的理解について
令和2年11月16日(月)	中堅委員等研修会 「民生委員・児童委員活動における個人情報の取り扱いと プライバシーへの関わりについて」
令和3年3月1日(月)～ 令和3年3月31日(水)	副会長研修会 「背中をそっと押せる役割を担おう！」 ※動画配信による個別受講で実施
令和3年3月2日(火)	地区会長研修会 地域共生社会と民生委員・児童委員活動
令和3年3月9日(火)	主任児童委員研修会Ⅱ 不登校の子どもとその親の心理状態について ※資料配布による個別受講で実施
令和3年3月23日(火)	新任民生委員・児童委員研修会 民生委員・児童委員活動について

7 相模原市地区社会福祉協議会の運営支援

相模原市地区社会福祉協議会の事務局として、地区社会福祉協議会の活動支援を行った。

各種会議開催の支援

会議名	回数
全体会	3回
役員会	5回
緑区連絡会	2回
中央区連絡会	2回
南区連絡会	3回

各種部会開催の支援

会議名	回数
企画部会	—
研修部会	1回
広報部会	—

行政との意見交換等の支援

行政等名称	内容
地域包括ケア推進課	福祉コミュニティ形成事業の視察について（星が丘地区）

8 部会活動推進事業

1) 種別部会の開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、種別部会を開催せず、地域福祉推進に関する情報提供等を行った。

2) 特別部会の開催

高齢者福祉施設部会

事業を運営する社会福祉法人により構成し、地域福祉の推進及び神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会（県老施協）等との連携を目的に開催した。

- 神奈川県社会福祉協議会老人福祉施設協議会との連携
 - ・神奈川県老人福祉施設協議会委員会への参加（委員5人）
 - ・神奈川高齢者福祉研究大会の企画・運営支援（実行委員会・係員10人）
- 各種別施設協議会等との連携
 - ・全国老人福祉施設協議会
 - ・関東ブロック老人福祉施設連絡協議会
 - ・首都圏高齢者福祉協議会

9 委員会の開催

(自主) 89,032 円

1) 経営基盤強化委員会の開催

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経営基盤強化委員会を開催せず、委員会の意見を基に、市民に対する寄付しやすい環境の整備、企業・法人に対する寄付促進に向けた本会の取組をまとめ、各委員に報告した。

2) 組織体制検討委員会の開催

社会福祉法人制度改革や地域共生社会の実現に向けた制度改正等を踏まえ、役員及び評議員の定数、費用弁償、委員会の体制について検討した。

委員会概要

開催月日	内 容
第1回 令和3年1月28日(木) (書面評決)	(1) 正副委員長の互選について (2) 組織体制の検討について ①役員及び評議員の定数について ②役員及び評議員の費用弁償について ③委員会の体制について
第2回 令和3年2月19日(金)	(1) 組織体制の検討について ①役員及び評議員の定数について ②役員及び評議員の費用弁償について ③委員会の体制について
第2回 令和3年3月9日(火)	(1) 組織体制の検討について ①役員及び評議員の定数について ②役員及び評議員の費用弁償について ③委員会の体制について (2) 委員会規程について

10 福祉のしごと・魅力発信事業

福祉の仕事の魅力を高校生等に伝え、将来の職業の選択肢としての意識醸成を目的に、福祉施設等と協働した「高校等キャリア教育推進事業」に取り組んだ。

参加者数：80人

活動講師数：1人(高齢者福祉施設：1人)

実施校：1校(中学校：1校)



1 1 広報紙社協さがみはら「みんないいひと」の発行

(自主) 10,209,228 円

1) 全市版の発行

年6回(偶数月1日 185,000部発行) タブロイド版 新聞折込

社協さがみはら「みんないいひと」全市版の発行

号数等		内容
233号	令和2年4月号	令和元年東日本台風(台風第19号)災害ボランティア活動を振り返って ・日頃の地域のつながりの大切さについて、被災された方や災害ボランティア活動に参加された方の声を紹介
234号	令和2年6月号	福祉のまちづくりを応援! 賛助会員加入のお願い ・賛助会費によって支えられている「22 地区社会福祉協議会が取り組む支えあい活動」と「市民福祉活動団体による子ども・若者支援活動」を紹介
235号	令和2年8月号	子ども応援 みんなのげんきなえがおがみたいなあー ・コロナ禍で子どもたちの居場所づくりに取り組む市民活動団体の活動紹介と「子ども健やか育成基金」への寄付を依頼
236号	令和2年10月号	あなたの募金はあなたのまちへ 赤い羽根共同募金運動に御協力を! ・歴代共同募金募集ポスターの紹介とともに赤い羽根共同募金に対する協力依頼、主な使途を紹介
237号	令和2年12月号	地域と子どもたちにやさしさを発信 ～「地域貢献型自動販売機の設置」にご協力を～ ・地域貢献型自動販売機の設置を生かした身近な福祉活動の取組を紹介
238号	令和3年2月号	地域で育まれていく“心” ～外国の方々と地域とのつながりづくり～ ・外国にルーツのある方々の地域とのつながりづくりや居場所づくりに取り組む「にほんごの会」の活動を紹介

2) 区版の発行

年3回(9月17日、11月12日、1月14日 各155,000部発行)

※ 区版は、(株)タウンニュース社発行の「タウンニュース」(緑区・中央区・南区版)の各1ページに掲載

社協さがみはら「みんないいひと」区版の発行

号数等		内容
第31号	令和2年9月17日号	<p>《緑区だより》</p> <p>喜んでくれる笑顔が励みになります!</p> <p>～「ちょこっとボランティア相模湖」の草取り活動～</p> <p>《中央区だより》</p> <p>一緒に成長していけたらいいな!</p> <p>～楽しい出会いは、子どもたちの学習支援～</p> <p>《南区だより》</p> <p>子どもの笑顔に元気をもらっています!</p> <p>～ファミリー・サポート・センター援助会員講習会への参加がスタートライン～</p>
第32号	令和2年11月12日号	<p>《緑区だより》</p> <p>ちょっとした見守りが子どもたちのために</p> <p>～養護学校生徒の通学支援ボランティアから～</p> <p>《中央区だより》</p> <p>ファイナンシャルプランは『人生のデザイン』</p> <p>～家計の悩み解決に向けた「家計相談支援」～</p> <p>《南区だより》</p> <p>ひとりじゃないよ!動画がつながる新しい絆</p> <p>～南区地域福祉交流ラウンジで楽しい時間を～</p>
第33号	令和3年1月14日号	<p>《緑区だより》</p> <p>気持ちを伝えるお手伝い</p> <p>～日本語を教えるボランティア活動(藤野地区)から～</p> <p>《中央区だより》</p> <p>地域の「困りごと」を地域の皆さんと一緒に解決</p> <p>～コミュニティソーシャルワーカーの取組から～</p> <p>《南区だより》</p> <p>コロナに負けないボランティアの力</p> <p>～得意なことを生かして地域に元気を届けます～</p>

1 2 相模原市社会福祉大会「市民みんないいひとの日」の開催

(自主) 946,359 円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第 51 回相模原市社会福祉大会の開催は、中止とし、顕彰者には、表彰状や大会記念品等を郵送した。

(顕彰者：特別表彰、一般表彰、感謝表彰を受賞する 203 の個人・団体等)

1 3 賛助会員募集事業

(自主) 2,356,753 円

市内 22 地区社会福祉協議会を通じて地区自治会連合会、地区民生委員児童委員協議会の協力により募集を行った。

一般賛助会員募集実績

募集実績	うち地区配分額
25,517,547 円	12,758,774 円

法人賛助会員募集実績

会員数	金額
108 法人	1,710,000 円

募集推進会議の開催

開催月日	内 容
令和 2 年 4 月 21 日 (火) (書 面 評 決)	<ul style="list-style-type: none"> ・社協さがみはら、地域情報紙等を活用した募集案内及び募集結果等の市民周知 ・賛助会員募集 Q&A の自治会役員等募集協力者への配布 ・領収書等募集資材の作成

1 4 録音・点字版社協さがみはらの発行

(自主) 944,816 円

広報紙「みんないいひと」全市版(年 6 回)・区版(年 3 回)の録音版(CD・テープ)、点字版を発行した。

1) 録音版の発行

○ 利用者数:83 名 行政機関等:16 か所

2) 点字版の発行

○ 利用者数:20 名 行政機関等:16 か所



15 マスコットキャラクターを活用したPR

マスコットキャラクター「にこまる」を活用し、わかりやすく情報を発信するとともに、子どもや若い女性に本会に関心を持ってもらうことを目的にPR活動を行った。

- ブログ「にこまるの部屋」による情報発信
更新回数:25回

16 寄付促進推進事業

(自主) 240,646円

企業・法人、市民からの寄付促進に向け、寄付金を活用した取組や成果の周知、企業・法人との連携による寄付付き商品の販売を行った。

1) 市民福祉活動団体の取組や成果を紹介

- 「子ども健やか育成基金」を財源として助成金を交付する子ども・若者支援団体の取組を紹介
- コロナ禍における子どもの学習機会・居場所づくりの取組を紹介するとともに寄付への協力を呼びかけ



2) 寄付付き商品の販売

- 日本ハムマーケティング(株)横浜営業所と連携し、お中元・お歳暮商品の売上げの一部を社会に還元する活動として、「子ども健やか育成基金」への寄付を目的とした寄付付き商品を販売

子どもたちみんなが笑顔に

このたび、日本ハムグループの皆様による**企業の社会貢献活動**の一環として、私たち相模原市社会福祉協議会の**子ども健やか育成基金**に対する寄付付き商品を御用意いただきましたので、この基金の御紹介をさせていただきます。




無料の学習塾や、学校の長期休暇中の居場所づくりの運営を支援 子ども食堂を資金面で応援

令和元年度は、こうした活動を行う市内27団体からの申請に対して、**総額6,543,000円の助成**を行いました。



**社会福祉法人
相模原市社会福祉協議会**
ホームページでもご紹介しています! 相模原市社協

② 地域福祉推進事業【社会福祉事業】

1 地区社協情報コーナーの設置

あじさい会館1階と南保健福祉センター1階に専用の掲示板を設置し、22地区社会福祉協議会の活動紹介を行った。

2 福祉情報ネットワーク推進事業

22地区社会福祉協議会、22地区民生委員児童委員協議会の事務局において、小地域の支えあい活動を支援するための情報収集・提供を行った。

また、地区事務局の運営強化を図るため、インターネット環境の整備を進めた。

3 地域の支えあい応援事業（地域福祉推進員の設置）

（補助）89,736,823円

22地区に地域福祉推進員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を行うとともに、相談援助活動や福祉関係諸団体との連携等ネットワークの構築を図った。

4 地域の支えあい応援事業（地域福祉支援員の設置）

（補助・自主）22,348,356円

19地区に地域福祉支援員を配置し、地区社会福祉協議会及び地区民生委員児童委員協議会の事務支援を通じて活動の促進を図った。

5 地域の支えあい応援事業（賛助会員会費の配分）

（自主）12,759,655円

地区社会福祉協議会の活動の充実・促進を図るため、地区で募集された一般賛助会費募集実績の50%を22地区社会福祉協議会に配分した。

6 地域の支えあい応援事業（サロン活動支援事業）

（自主）7,836円

身近な地域での高齢者や障がいのある方、子育て期の保護者等の仲間づくりの活動を支援した。

サロン把握数

種 別	サロン数
高齢者サロン	279 団体
子育てサロン	38 団体
障がい者サロン	8 団体
合 計	325 団体

1) サロン活動の促進

- サロンへのレクリエーション用具の貸出し
- ふれあい・いきいきサロンの状況を調査し、課題抽出及び関係者・一般市民への情報提供

2) 新規サロン立ち上げ支援

- 新規サロンの立ち上げの過程で、地区担当職員を中心に相談支援等を行った。

7 福祉コミュニティ形成事業

(補助) 8,186,399 円

22 地区で地区社会福祉協議会を中心に取組まれる小地域の支えあい活動について、事業検討の場「地域福祉推進会議」の運営支援及び事業経費の助成により推進した。

22 地区の「福祉コミュニティ形成事業」主な取組

(単位：円)

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤整備費	事業継続費	総 額
1	橋 本	○ 活動拠点の運営、交流の場づくり ・ ふれあいの家「ぬくもり」の管理・運営 定例活動として「ぬくもり喫茶」や「映画の日」を実施 ※従来実施していた「百歳体操」「麻雀の日」などの定例活動、子育てサロンは、コロナ禍で活動休止	540,000	—	540,000
2	大 沢	○ 交流の場づくり ・ 大沢 comcom.com 会議 ・ こむこむ茶屋（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 健康マーじゃん（上大島自治会館・古清水自治会館）の開催 ・ 交流イベント「ドットこむ企画」 ※交流事業については、コロナ禍で活動休止。再開に向けて消毒薬や非接触型検温器を購入。	—	39,073	39,073

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
3	城 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「久保沢ふれあいカフェ」の実施 ・ 「原宿なごまーる」、「若葉ほっこりーな」は、従来実施していた拠点活動をコロナ禍で活動休止。コロナ禍における状況などについて、交流の場等の運営者による情報交換会を実施 ・ 毎月1回「しろやまふれあい農園」の活動実施 収穫した野菜は食料支援に提供（作業内容により、参加者の募集を行わずにボランティアのみで活動） ・ 「愛・城ものがたり」（地域食堂）は、コロナ禍により活動休止 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の困りごとを受け止めて解決する住民主体の活動「城山助けあい支えあいセンター」（愛称 あいあいセンター）の運営 <ul style="list-style-type: none"> ▶相談日（毎週水曜日）の開設 ▶登録サポーターによるゴミ出し、買物等付添い、電球の交換、庭の手入れ、家事援助、家具の移動 など ・ コーディネーター会議の開催 	61,871	159,173	221,044
4	津久井	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「小網ふれあいネットワーク」の運営 ・ 中央地域、三井名手地域での見守り活動実施 ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ サロン活動の推進事業 	70,000	260,000	330,000
5	相模湖	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ いきいき百歳体操サロン支援 ・ 健康マージャンサロン支援 ・ 「サロン会場」個人宅提供者への経費助成 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商店等による見守りの仕組み「みまもりネットさがみこ」の実施 ・ とっさの時のあんしんケース（救急医療情報キット）の配布・情報更新 ・ 赤ちゃんが生まれた世帯へのプレゼント配布、訪問事業「こんにちは赤ちゃん!さがみこ“ぬくもり”支援事業」の実施 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民相互の助けあいの仕組「ちょこっとボランティア相模湖」の実施 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手作りマスク製作ボランティアの募集 マスクは高齢者、福祉施設に配布 ・ 子育て情報掲載「子育てマップ」の配布 	52,955	230,000	282,955

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
6	藤 野	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で多くの「たまり場（世代を超えた交流の場）」は休止となったが、一部十分な感染予防をした上での活動について支援 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍ではあったが、住民相互の助けあいの仕組み「おたがいさまネットふじの」を継続運営し、個別ニーズに対応 ・ サポーター交流・研修会を開催し、災害ボランティアセンター協力員（仮称）を募り17名が登録 ・ コーディネーター会議開催 	36,000	184,000	220,000
7	小 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口・個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おやま生活サポートセンター」の運営 ・ 運営会議開催（年間10回） ・ 地域団体への啓発活動 <p>※従来実施していたボランティア講座は、コロナ禍で中止</p>	34,561	47,420	81,981
8	清 新	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょこっとボランティアくらぶ」運営 ・ ちょこボラミーティングの開催 ・ 登録者向け「ちょこボラ便り」発行 ・ 生活支援体制整備事業「シニアサポート活動（訪問型）」を実施 	16,457	198,989	215,446
9	横 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくりと地域活動拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティよこやま「憩」での活動について、コロナ禍での在り方を検討する機会を設け、話し合いを行った。 <p>※従来実施していた拠点活動は、コロナ禍で中止。感染予防対策の準備を進めると共に、屋外での花植え活動を実施。</p>	179,472	190,307	369,779
10	中 央	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内5拠点（「ふれあいふじみ」、「ふれあいむらとみ」、「ふれあい相生」、「ふれあい相模原中央」、「ふれあいMYT（松が丘・弥栄・高根）」）での三世代交流活動について、コロナ禍での在り方を検討する機会を設け、話し合いを行った。 <p>※従来行っていた拠点活動は、全て休止。家庭で作れる工作材料の配布を実施。</p>	—	66,062	66,062
11	星が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「いこいの広場」あらゆる世代の交流の場（地区内3か所）の開催 ・ 「はやぶさ学習塾」による教員OB、民生委員・児童委員、自治会、子ども会との連携による学習支援の実施 ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょっと手伝い隊」ちょっとした困りごとを、住民同士で支えあい、助けあえる有償ボランティア活動の実施 	249,112	260,000	509,112

②地域福祉推進事業

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤整備費	事業継続費	総 額
12	光が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘地区にぎわい処（食事やお話の場） （感染症対策を講じ、お弁当持ち帰り方式で活動を継続） ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 光が丘サポート隊の実施 ○ 相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ サポートセンターの運営（週3回） （相談受付、ボランティア派遣、ボランティア養成） 	480,000	60,000	540,000
13	大野北	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり・相談窓口 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「はやぶさカフェ大野北」について、コロナ禍での在り方を検討する機会を設け、話し合いを行った。 ※従来実施していた活動はコロナ禍で休止 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「お出かけ・配達便利マップ」の作成、発行 スーパー、コンビニ・ドラッグストアや公園を調査し、「トイレ・ベンチ・宅配サービス」の情報をまとめたマップを発行 	27,000	260,000	287,000
14	田 名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口・個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「田名ボランティアセンター」運営 ・ コーディネーター、サポーター対象「研修会・勉強会」開催 ・ 「ボラセン通信」発行 	540,000	—	540,000
15	上 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動拠点・交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぶらっと上溝」運営 ・ 感染症対策を講じ、健康マージャン、折り紙教室等を実施 ※従来実施していた「みんなの食堂」「こどもクッキング」、一般団体への部屋貸しは、コロナ禍で休止 	540,000	—	540,000
16	大野中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おおのなかボランティアセンター」運営 ※従来実施していたボランティアセミナー、コーディネーター研修会、「健康麻雀教室」は、コロナ禍で中止 	310,423	215,361	525,784
17	大野南	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者サロンの普及推進、運営支援 ・ サロン推進委員会開催 ・ サロン運営者懇談会開催 ・ サロン通信発行 ・ 地区内のふれあいいきいきサロン（地域サロン）運営助成 	2,900	260,000	262,900
18	麻 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ボランティアセンターあさみぞ」運営 ※従来実施していたボランティアスタッフ会議、ボランティア交流会、視察、研修会は、コロナ禍で中止 	480,000	60,000	540,000

	地区名	内 容	助成金額		
			基盤 整備費	事業 継続費	総 額
19	新 磯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「新磯見守りステーション」の検討 ・ 1対1の見守り体制ではなく、地域の実情に合った「見守り」について検討を行った ○ 個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょっとサポートしたい」の実施 ・ 高齢者や子育て世帯の日常生活でのちょっとした困りごとをすみやかにサポート 	250,000	93,510	343,510
20	相模台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動拠点・交流の場づくり・個別ニーズ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「サポートセンター楽らく」運営 ・ 登録サポーター向け情報提供「楽らく通信」発行 ※従来実施していた登録サポーター向けの「スキルアップ講習会」は、コロナ禍で中止 	540,000	—	540,000
21	相武台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動拠点・交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ひだまり相武台」運営 ・ 住民が気軽に集い・交流の場「ひだまりカフェ」開催 ・ 地域活動団体部屋の貸出 ・ 新しい生活様式に対応した地域活動の推進のためインターネット環境を整備 ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「支えあい（愛）相武台」実施 ・ 相武台グリーンパーク・新磯野北班、相武台団地・新磯野南班、相武台前町内会・サンハイム・サンヴェルジュの3班による一人暮らし高齢者への定期訪問、運営委員会開催、各班による毎月班会議を実施 	166,144	260,000	426,144
22	東 林	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流の場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「東林いきいの広場（地区内1か所）」開催 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア講座「東林いきいき塾」開催 	12,700	260,000	272,700
合 計			4,589,595	3,103,895	7,693,490

8 交通遺児援護事業

(補助・自主) 852,310 円

生活支援を目的に、交通遺児世帯へ見舞金・激励金の支給を行った。

神奈川県社協 見舞金・援護金の支給

支給金種類	対 象	金 額
激励金 (1人当たり 50,000 円)	中学校入学 2人 中学校卒業 1人	150,000 円
合 計		150,000 円

本会 交通遺児指定寄付金の配分

支給金種類	対 象	金 額
指定寄付金	7人	700,000 円

9 南区地域福祉交流라운ジの運営

(補助) 13,791,804 円

南区内で地域福祉活動等に取り組む市民を対象にした相互交流及び福祉情報の提供等を目的とした施設の管理運営を行った。

新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、活動室利用予約のない時間帯を活用し、登録団体や地域団体が作成した高齢者や子育て世代向けの動画を放映し、訪れた人を楽しんでいただいた。広報事業として、地域の商業店舗や企業、薬局などに設置した「福祉の掲示板」により、「福祉なんでも相談」や地域の福祉情報を広く市民に向けて発信した。

1) 運営の概要

- 開設日数：181日（活動室利用休止日等を除く。窓口開設日数は349日）
- 開設時間：午前9時～午後9時30分
- 延べ来場者数：1,272人・登録団体：53団体（窓口来場者数は4,584人）
- スタッフ：相談員1人、補助員8人

2) 会議の開催

- 運営協議会：年1回（書面表決）、運営委員会：年2回（書面表決）
- 利用者懇談会：年1回（書面によるアンケートで意見収集）
- 役員会：随時（年3回）

3) 通年事業の実施

- みんなのサロン：月2回 感染症対策の為実施せず
- みんなのサロン コーヒーやさん：月2回 感染症対策の為実施せず
※ミニミニサロンとして実施1回
- みんなの子育てサロン「ぽっかぽか」：月2回 感染症対策の為実施せず
- にほんご教室：週1回（7月以降、実施）
- 福祉なんでも相談：週1回（7月以降、実施）
- ラウンジボランティア講座：年1回 感染症対策の為実施せず
- 県立相模原養護学校との協働（清掃活動：令和2年度は、2回）
- 季刊「ふくしラウンジ」の発行：1回発行（3月）

4) 福祉の掲示板の設置

- 大野中（6）、大野南（9）、相模台（6）、相武台（3）、東林（6）

5) 企画展の実施

企画展実施状況

開催月日	内容
令和2年 10月1日（木）～10月15日（木）	「赤い羽根ポスター展」 ・ 赤い羽根共同募金の昭和20年代のポスターを始め 共同募金の歴史などを展示
10月28日（水）～11月25日（水）	「交通安全を呼びかけるポスター・標語展」 ・ 大野南地区交通安全母の会による小中学生を対象に した同展の入賞作品の展示
12月19日（土）～12月27日（日）	「福祉ポスター・標語展」 ・ 相模原市の福祉推進運動の一つとして行われている 同ポスター展の巡回展 ・ 絵画や標語など入選作品23点を展示
令和3年 1月4日（月）～1月18日（月）	「小さな図工室」 ・ 発達障がい等がある子を対象に、ボランティアで行 っている絵画教室の作品展

10 民生委員・児童委員研修事業

(受託) 1,200,000 円

民生委員・児童委員（定数：933人（民生委員・児童委員 879人 主任児童委員 54人））を対象とした研修事業を実施した。

民生委員・児童委員研修実施状況

研修名	研修内容・コロナ対応	開催月日	受講者数
全体研修会	「訪問活動・相談活動の基本」を各地区で研修	令和2年8月1日（土）～ 令和3年3月31日（水）	903人
主任児童委員研修Ⅰ	児童虐待の基礎的理解について	令和2年10月23日（金）	43人
中堅委員等研修会	個人情報保護について	令和2年11月16日（月）	80人
副会長研修	定例会の運営等について、ネット配信により研修を実施。	令和3年3月1日（月）～ 令和3年3月31日（水）	43人
地区会長研修	地域共生社会と民生委員・児童委員について	令和3年3月2日（火）	22人
主任児童委員研修Ⅱ	研修資料を各委員に配布	令和3年3月9日（火）	51人
新任民生委員・児童委員研修会	「民生委員・児童委員活動について」	令和3年3月23日（火）	36人

11 ボランティアチャレンジスクールの開催

(自主) 4,000 円

夏休み期間中の中学生・高校生を対象とした「福祉活動等体験講座」を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

また、事業の主催団体である相模原市市民活動中間支援施設連絡会【相模ボラディア（本会ボランティアセンター・さがみはら市民活動サポートセンター・さがみはら国際交流ラウンジ）】では、相模原市青少年学習センターの助言のもと、「集まらなくてもできる福祉活動等体験講座のあり方」や「中間支援組織として住民の福祉活動をいかに支援するか」等について協議を重ねた。

1 2 福祉教育活動推進事業

(補助・自主) 183,299 円

1) 高等学校への福祉活動支援

高等学校が取り組む福祉活動の普及・啓発を目的に、地域住民や福祉施設、ボランティア等と連携・協力を行いながら、事業の企画の段階から実施までを支援し、高校生の福祉活動に対する意識の向上と参加の促進を図った。

ア 担当教諭個別相談会の開催

開催日：令和2年12月7日(月)～令和3年1月19日(火)

内 容：次年度の取組や地区社協との連携について

実施校：7校

(県立相模原総合高等学校、県立津久井養護学校、県立城山高等学校、県立相模原養護学校、県立相模原中央支援学校、県立相模原弥栄高等学校、学校法人シュタイナー学園高等部)

イ 補助金交付対象校への支援

補助金交付状況

学校名	内 容	交付額	執行額
県立相模原総合高等学校	・ 福祉施設との交流 ・ 福祉コンサート	150,000 円	50,440 円
県立津久井養護学校	・ 学校間交流 ・ 学習支援ボランティア 等	95,000 円	15,656 円
県立城山高等学校	・ ひまわりクラブ人形劇公演	70,000 円	22,718 円
県立相模原養護学校	・ 地域支援事業	130,000 円	— 円
県立相模原中央支援学校	・ 地域環境整備事業 ・ 地域イベント交流	70,000 円	20,000 円
県立相模原弥栄高等学校	・ ふれあいコンサート 2020	35,000 円	— 円
合 計		550,000 円	108,814 円

※新型コロナウイルス感染症拡大により、外部との交流事業をはじめ多くの事業がやむなく中止になったため、執行額が少額となった。

2) みんないいひと体験講座の開催

主に小・中学生等を対象に、福祉体験講座の開催について講師派遣調整、物品貸出しを実施し、福祉に対する理解を深めた。

ア 講師の派遣調整等

実施件数：37件（小学校18校、中学校11校、高等学校4校
養護学校1校、大学2校、企業1社）

参加者：3,431人

イ 物品貸出

車椅子：7件、高齢者擬似体験セット：10件

ウ 福祉教育実践担当教諭の支援

令和2年9月2日（水）開催「小・中学校における人権・福祉教育の担当者会（学校教育課主催）」において、みんないいひと体験講座の概要や申請方法の説明を行った。

エ その他

新型コロナウイルス感染症拡大により、従来行われていた体験型や交流型の講座実施が困難になる中、オンラインを活用した講座の開催や映像教材の作成、新しいプログラム開発等により、福祉教育の推進を続けた。



3) 障がい児通学等送迎活動経費交付事業

ボランティアが取り組む障がい児の通学等送迎活動に対して、その費用の一部を交付した。

○ 活動回数：189回、交付総額：56,700円

13 ふれあいデイホーム事業

(補助・共募・自主) 6,341,532円

在宅の障がい児者を介護している家族等介護者が、休養や外出等で介護ができない場合に、相模原市南保健福祉センター内に設置された「福祉支援室」において、障がい児者を昼間一時的に介護し、その世帯の援助を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、スタッフが利用者1人当たり1名でケアができるよう、定員を通常の半数程度とした。

- 令和2年度末利用登録者数：311人
- 運営委員会の開催：令和3年3月29日(月) ※本会評議員会にて予算承認

開設日数・利用者数等		預り事由別内訳				
区分	人数等	区分	人数	区分	人数	
年間開設日数	288日	保護者の疾病・入通院	15人	本人の学校関係	1人	
年間延べ利用者数	18歳未満	293人	介護・看護	10人	兄妹の学校関係	10人
	18歳以上	339人	冠婚葬祭	4人	その他	272人
	合計	632人	公的機関・自治会等	4人	私的理由	317人
1日当たり利用者数	約2.2人	出産	1人	体験	10人	
			合計		632人	

利用時間別内訳

区分	人数
半日	532人
全日	100人
合計	632人

医療的ケア等申請実施状況

申請内容	申請者数	実施回数
経管栄養	8人	5回
吸引	1人	1回
てんかん発作時投薬	1人	1回
在宅酸素	2人	1回

14 インターネット等活用福祉情報提供事業

(共募・自主) 2,799,967円

電子メール等により市民をはじめ本会一般会員等から福祉講座や研修会、イベント等に関する情報を収集し、本会ホームページにより情報提供を行った。

15 地域の支えあい応援事業(地区社協育成費補助金)

(共募・自主) 20,999,884 円

地区社会福祉協議会活動の充実・促進を図るため、運営費及び活動費の助成等を行った。

地区社協育成費補助金等交付状況

補助事業名		財源等	補助額
地区社協活動 推進事業	基礎事務事業費	年末助けあい配分金	7,920,000 円
	共同募金活用費	共同募金配分金	4,500,000 円
	人口等傾斜配分金	共同募金配分金	3,506,000 円
	ボランティアグループ育成費	年末助けあい配分金	2,411,750 円
特別育成費補助金		地域貢献型等自販機売上 手数料収入	2,287,264 円
地域助けあいシステム事業助成		地域支えあい応援基金	300,000 円
合 計			20,925,014 円

16 災害見舞金の支給

(共募・自主) 180,000 円

火災等罹災世帯への見舞金の支給を行った。

災害見舞金支給状況

見舞金内容等	件数	支給金額
全焼 (1件 20,000 円)	8 件	160,000 円
半焼・半壊 (1件 10,000 円)	1 件	10,000 円
重傷 (1件 10,000 円)	1 件	10,000 円
合 計	10 件	180,000 円

17 就職支度費等一時給付事業(生活困窮者世帯就職活動応援事業)

(共募) 20,900 円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、就職等による自立を志向する世帯を支援するため、就職活動及び就職後に直接必要な物品の給付を行った。

○ 給付対象：1 世帯

就職支度費等一時給付事業給付状況

	給付内容	給付額
1	就職後必要物品(眼鏡)購入費用	20,900 円
合 計		20,900 円

18 食料品等緊急一時給付事業

(共募) 90,430 円

離職その他の事情により一時的に生活困窮に陥り、生活福祉資金等の貸付決定や給与・公的給付等収入日まで（おおむね1週間以内）の間、生活を維持するための食料品の確保が困難な世帯を対象に食料等の給付を行った。

- 給付対象：17世帯（32人分・延べ98日間分）

19 生活困窮者支援団体応援事業

(共募) 1,284,592 円

市内の生活困窮者の社会参加や自立生活の促進を目的とした活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：6団体
- 助成金額：1,281,622円
- 主な助成対象事業：就労準備支援や社会参加の場づくり、フードバンク等

20 子ども健やか育成事業

(共募・自主) 5,471,326 円

市内の福祉的課題を抱える子どもたちの居場所づくり等の活動を行う団体に対して、助成事業を通じて支援を行った。

- 助成団体：27団体（うち、新規申請団体6団体）
- 助成金額：5,387,748円
- 主な助成対象事業：子ども食堂、無料学習支援、学校の長期休暇中の居場所づくり

2.1 子どもの居場所創設サポート事業

(受託) 4,400,000 円

無料学習支援や子ども食堂など、地域で展開する子どもの居場所づくりを推進するため、必要な情報の提供、活動の周知や運営に関する相談など地域住民が活動しやすい環境づくりを進めるために、以下の事業を実施した。

1) 子どもの居場所づくりセミナー

地域で展開する子ども食堂や無料学習支援等、ボランティアや住民が運営する子どもたちの居場所づくりについて、開設・運営を進めるために必要な情報の提供や立ち上げなどを応援するために実施



(1) 「やってみたいな！子どもの居場所」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和2年12月11日(金) ソレイユさがみ	<ul style="list-style-type: none"> ・講演：子どもの居場所とは はじめるためのアレコレ (講師：おひさま 代表 山角 直史氏) ・事例報告 (ソレイユにこここ食堂、子ども広場ウエルカム) 	22人

(2) 「「今」だからこそその役割りと子どもの「今」」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和3年3月6日(土) ※Zoomによるオンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・講師対談 (講師：子どもの未来サポートオフィス 代表 米田 佐知子氏、NPO 法人八王子つばめ塾 理事長 小宮 位之氏) ①子どもの居場所の運営で大切なことは？②コロナ禍における子どもの居場所の現状③今後、子どもの居場所はどうかの展望、予測) 	43人

(3) 「学生×(かける)子どもの居場所づくりセミナー」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和3年3月26日(金) *Zoomによるオンライン開催	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が運営する子どもの居場所事例報告とグループワーク (「あすのち」三浦さん(高校2年)、「こども広場ウエルカム」豊田さん(明星大学3年)、「かながわ学生ボラ連」井ノ上さん(日本大学3年)) ・事例報告を受けて、参加者と自己紹介、感想のシェア、質疑応答 ・登壇者の団体のPR 	13人

2) 情報交換会

子どもたちの居場所づくりの運営を進める団体間の連携を推進するために実施

(1) 子どもの居場所運営団体情報交換会

「どうする？コロナ後の居場所～知恵を出し合い未来へ！～」

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和2年7月13日(月) ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 (①コロナ禍における『子どもの居場所』の運営について、 ②食品衛生管理について、③活動状況アンケート結果につ いて) ・グループワーク(自己紹介と情報・意見交換)、全体共有 	31人

(2) 子ども食堂運営団体情報交換会

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和2年11月25日(水) 環境情報センター 2階学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 (①食品衛生管理について、②食材等の提供情報、③子 どもの居場所との連携等について、④さがみはら地域ポ ータルサイト(通称さがポ)への団体ページ掲載につい て、⑤事例集作成について、⑥今後のセミナー等のお知 らせについて) ・情報交換(自己紹介、情報・意見交換) コロナ禍での工夫、開催場所・助成金での苦労 ・感染症対策用品に対するニーズのヒアリング 	14人

(3) 学習支援運営団体情報交換会

開催月日・会場	内 容	受講者数
令和2年11月30日(月) 環境情報センター 2階学習室	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供 (①現在の子どもたちの状況について、②感染症予防物品に ついて、③子どもの居場所との連携等について、④さが ポへの団体ページ掲載について、⑤事例集作成につい て、⑥今後のセミナー等のお知らせについて) ・情報交換(自己紹介、情報・意見交換) 	11人

3) 子どもの居場所総合相談窓口

居場所を立ち上げ、運営する団体の支援のため、本会(中央ボランティアセンター)に相談窓口を設置し、新規開設等に係る問合せ、相談対応を行った。

- 相談員：1人配置
- 相談件数：延べ1,962件(うち、新規立ち上げ相談件数：13件)

2.2 市民活動育成支援事業

(自主) 982,165 円

1) 市民活動団体への助成

当事者活動及びボランティア活動の支援を目的に、障がい児者・高齢者・子ども・難病患者等の福祉課題に取り組む団体に対する活動助成を行った。

- 助成対象 14 団体
- 助成総額 969,235 円 (当初交付額 : 1,400,000 円)

2) ボランティアセミナー

市民のボランティア活動を促進するため、活動紹介、活動の心構え、車椅子体験など活動の基礎を中心に本会職員による講習会を実施した。

- 開催回数 : 7 回 (会場 : 緑区合同庁舎、あじさい会館、南保健福祉センター等)
- 受講者 : 39 人

3) 各種ボランティアセミナー

例年、「地域福祉活動の新たな担い手の発掘と連携」を実現するためにボランティア及び地域福祉活動に関するセミナーを実施しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で開催に至らなかった。

4) 市民まつり「ふれあい・ふくしブース」

「第 47 回相模原市民桜まつり」にて、福祉の担い手となるボランティアグループ等が市民への活動の PR や団体間の交流促進を図る機会として、独自の出店ブースを設営する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で祭典が中止となった。

23 ボランティアセンター運営事業

(補助・自主) 4,120,726 円

1) 緑・中央・南ボランティアセンターの管理運営

- 活動把握ボランティアグループ：127 団体(令和3年3月末現在)
- ボランティアセンター非常勤職員7人配置

相談件数の状況

区 分	件 数
ボランティア活動相談件数	185 件
ボランティア依頼相談件数	108 件
その他相談件数	473 件
合計	766 件

ボランティア依頼内容

区 分		件 数
個人	通院介助	1 件
	学校・保育園送迎	10 件
	外出介助	1 件
	話し相手・見守り	4 件
	清掃関係	9 件
	その他	16 件
団体	レクリエーション指導	2 件
	日課活動補助	8 件
	イベント支援	11 件
	パフォーマンス披露	5 件
	その他	6 件
合計		73 件

2) 相模原市市民活動中間支援施設連絡会（相模ボラディア）

市民活動中間支援施設の連携・協働を進めるために、定例的に会合を行い情報共有・協働事業の企画・検討を行った。(年8回開催)

- 加入施設：ボランティアセンター、さがみはら市民活動サポートセンター、さがみはら国際交流ラウンジ
- オブザーバー：相模原市立青少年学習センター

3) ボランティアグループ活動等調査

ボランティアグループの活動状況を調査し、窓口での紹介及び「相模ボラディア（市民活動団体情報検索）」におけるウェブサイト及び本会ホームページ「みんないいひと」での情報提供を行った。

4) コロナ禍のボランティア活動受入れ状況に関するアンケート調査

高齢者・障がい者施設、保育園等を対象に、感染症対策やボランティア受入の状況、施設利用者の様子等についてアンケート調査を実施。104件の回答があり、調査結果は、施設等及びボランティア活動者への情報提供に用いるとともに、ボランティアコーディネート業務に活用した。

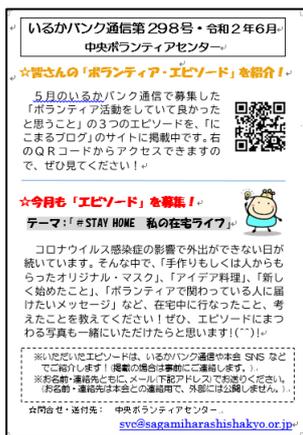
2.4 いるかバンクの運営

(自主) 240,254円

ボランティア活動の促進を目的に、ボランティア登録制度「いるかバンク」を運営し、登録者に活動情報の提供を毎月行い活動機会の充実を図った。

- 登録者数：557人
- 活動者数：延べ1,129人

1) いるかバンク通信の発行（ハガキ版：11回、A3版特大号：1回）



2) 公式LINEアカウントの活用によるボランティア活動情報の提供

情報発信ツールLINEの公式アカウントを活用して、ボランティア活動情報等の提供に取り組んだ。

3) ホームページにおける「ボランティア募集情報」ページのリニューアル

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でボランティア活動が制限される中、活動者を募集する団体の情報をいち早く提供できるよう、令和3年1月にホームページをリニューアルした。

25 防災ボランティア推進事業

(補助・自主) 860,070 円

1) 災害ボランティアコーディネーター養成講座

- 主催：相模原災害ボランティアネットワーク（本会共催）

災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催状況

開催月日・会場	内容	受講者数
令和3年1月24日（日） 相模原市立産業会館	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアの基礎知識 ・災害時ボランティアセンターについて ・コーディネーターの活動について ・活動事例紹介 ・講演会 等 	中止

- ・内容のリニューアルのため、相模原災害ボランティアネットワーク運営委員会会長を中心に、講座検討会を開催した。
- ・相模原災害ボランティアネットワーク主催の災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

2) 災害ボランティア活動訓練

相模原市総合防災訓練の一環として、災害ボランティア活動への意識の高揚を図ることを目的に、例年、相模原災害ボランティアネットワークと協働し市民ボランティアの参加を得てブースを設置している。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった。

3) 「防災カアップ講座」の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止が課題となっている現状で、本市内で災害が発生した際の、「災害ボランティアセンター」の機能や運営等の考え方について、市民に周知するために、「防災とボランティア週間」の時期に合わせて開催した。「令和元年東日本台風」により本市で発生した災害を、再度自分たちのこととして受け止め、次なる災害に備え日頃から何ができるのか考えることを目的に、外部講師による講義をオンライン形式で実施した。

- 共催：相模原災害ボランティアネットワーク、後援：相模原市

「防災カアップ講座」の開催状況

開催月日・会場	内容	受講者数
令和3年1月24日（日） Zoomによるオンライン開催 ボランティア活動室から発信	講義：「コロナ禍における 災害ボランティアセンターのかたち」 講師：高山弘毅氏 （榛東村社会福祉協議会学童保育所係長／Nukiito 代表） グループワーク：「地域における受援力を高めるために」	27人

4) 市内自治会等防災訓練への協力

相模原市からの依頼に基づき、自治会等が実施する防災訓練において災害時要援護者支援訓練等への職員派遣及び訓練用資機材の貸出しを行った。

- 派遣件数：2件・派遣職員数：延べ4人
- 訓練用資機材（車いす、段差）の貸出

2.6 ささえあいセンターの運営

(補助) 2,890,761円

令和元年東日本台風により被災した地域住民の生活上の不安解消や孤立、孤独の防止等を目的にささえあいセンターを設置し、訪問等による相談援助及び地域づくり支援を実施した。

- 設置場所 城山地区ささえあいセンター（市社協城山地域事務所内）
津久井地区ささえあいセンター（市社協津久井地域事務所内）
相模湖地区ささえあいセンター（市社協相模湖地域事務所内）
藤野地区ささえあいセンター（市社協藤野地域事務所内）

○ささえあいセンター相談員の配置

4地区ささえあいセンターに各1名の相談員を配置した。

○延べ支援対象者数 189人

○延べ支援世帯数	223件	○相談内容	223件
・訪問	86件	・経済面	7件
・電話	61件	・住居関連（仮設・再建）	84件
・来所	33件	・介護・福祉・医療関係	8件
・その他（ボランティア派遣を含む）	43件	・その他（ボランティア派遣を含む）	124件

○地域づくりに向けた講座の開催協力

津久井及び藤野地区社会福祉協議会主催事業の講座開催、災害ボランティアセンター発足時の地域協力者の登録の取組に協力した。

・津久井地区

名称：「災害ボランティア支援隊オリエンテーション」

日時：令和2年8月18日（火）[午前・午後]・20日 同内容を3地域で開催

登録者数：83名

・藤野地区

名称：おたがいさまネットふじのサポーター交流会

「災害時のボランティア活動支援について」

日時：令和2年9月16日（水）[1回目 午後1時30分～ / 2回目 午後3時～]

場所：藤野総合事務所

参加者：33名

災害ボランティアセンター協力員登録者数：23名

27 ボランティア協会活動助成

(自主) 1,580,000円

相模原ボランティア協会の運営及び活動に対する助成を行った。

1) ハンディキャブ号の運行

○ 活動件数：330件 利用者数：延べ451人

○ 活動運転ボランティア：延べ330人 活動介助ボランティア：今年度は活動なし

2) ボランティア養成講座の開催

ア 基礎講座…中止

イ コース別講座…中止

ウ 養成講座 「オンライン会議の開催」

開催月日：令和3年3月24日（水）

会場：あじさい会館展示室

参加者：15名

(地区ボランティアセンター等活動団体6名、要約筆記サポーター2名、
広報担当者2名、講座担当者5名)

2 8 地区住民相談支援活動推進事業

(自主・補助) 1,357,220 円

地域の支えあい活動や相談支援活動をより効果的に進めるための専任担当者として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を市内全 22 地区に配置し、「個別支援（既存の制度だけでは対応困難な個別ニーズの把握と相談支援）」及び「地域支援（地域の支えあい活動の推進、専門機関等との連携体制の構築等）」に取り組んだ。

また、「自立支援一時給付事業」により、個別支援において把握した生活困窮者の生活基盤確保に要する経済的な支援や「地域支えあい活動応援事業」、「高齢者生活支援体制整備事業」において把握された福祉課題解決に取り組む活動に対して助成を行った。

CSWによる支援の状況

	実相談件数	延支援回数
個別支援	480 件	5,172 件
地域支援		15,780 件

1) 個別支援

ア 相談支援の状況

延べ「個別支援」対象別相談内容

内 容	件数	内 容	件数
高齢	128 件	外国籍	1 件
身体障がい	23 件	疾病	33 件
知的障がい	22 件	無職	15 件
精神障がい	60 件	ひきこもり等	31 件
発達障がい	11 件	依存症	6 件
一人親	7 件	その他	207 件
子ども	10 件	不明	21 件
合 計			575 件

延べ「個別支援」課題別相談内容

内 容	件数	内 容	件数
認知症	22 件	虐待・DV	19 件
経済的困難	63 件	精神的不安	47 件
家事等困難	17 件	孤立	32 件
介護	31 件	近隣トラブル	37 件
就労	12 件	偏見・無理解	1 件
ごみ問題	21 件	社会資源不足	13 件
住居問題	23 件	金銭管理	20 件
ひきこもり	25 件	その他	310 件
出産・子育て	7 件		
合 計			700 件

イ 自立支援一時給付事業

給付件数：1 件（総額 100,000 円）

- 障がい疑われる 30 代姉弟世帯の支援
 - ・遺産相続手続きにかかる費用（司法書士報酬）
 - ・病院受診にかかる費用（治療費、診断書代他）

2) 地域支援

ア 地域支援の状況

○ 啓発活動

- ・CSW実践報告集やCSW通信の発行と周知
（地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会に
対し、CSWの取組を報告し課題を共有）
- ・各地区のコロナ禍における取り組みをまとめた
「つながりアクション」の作成と発行。



○ 各機関との関係構築・連携

- ・障害者キーステーションや松が丘園との情報共有
- ・ひきこもり支援ステーションや若者サポートステーションとの連携による若い世代の見守りや居場所づくり
- ・通学支援が必要な児童のボランティア活動支援と、通学支援に関する課題をボランティアセンターと検討
- ・あんしんセンター・日常生活自立支援事業対象者への地域活動参加の促し
- ・総合情報システム「こころ」の導入による本会内での情報共有化・連携



○ 地域でのネットワークづくり

- ・地区社会福祉協議会や地区ボランティアセンターとの連携による、障がい者を支える仕組みづくり
- ・多世代交流や地域理解を目的として、小学校、地区社協、民生委員・児童委員、老連等で連携して小学校での福祉教育の実施支援
- ・被災者支援としての「ささえあいセンター」の取り組み

イ 地域支えあい活動応援事業

助成件数：3 団体（総額 197,006 円）

- 犬の散歩を通じて地域から孤立しがちな高齢者を支援する「ハッピーサポート隊」の立ち上げ（東林地区）
- 「麻溝健康プロジェクト」による高齢者への介護予防ニュースレターの作成と配布（麻溝地区）
- ひきこもりがちな方への社会参加の場「田名ふれあい交流農園」の運営（田名地区）



3) CSW研修等の実施

CSWリーダー・中堅職員研修会の開催

	開催月日	参加人数	内容
第1回	令和2年8月3日(月)	8人	「コーチング研修」 講師 東京都立大学 室田信一准教授
第2回	令和2年12月25日(金)	11人	「地域アセスメント&プランニング」 講師 東京都立大学 室田信一准教授

事例検討会等の開催、参加

区分	内容
CSW 事例検討会 (GSV)	各区の実情に併せて月1回程度実施。事例検討や情報共有を図る。必要に応じて、田園調布学園大学 隅河内司教授の助言を受けた。
南・緑キーステーション GSV	キーステーション主催の GSV に参加。参加している機関との情報交換を図った。
中央・勉強会	主任以下の職員を対象とした勉強会を月1回実施。各地区の取り組み等、情報共有を図った。

2.9 生活支援体制整備事業

(受託) 54,135,000 円

29 日常生活圏域に「生活支援コーディネーター」を配置し、各圏域の高齢者支援センターとの連携・協働により、介護予防・日常生活支援総合事業による高齢者を支える仕組みづくり等を「地域づくり部会」の運営支援を通じて取り組んだ。

29 圏域の「生活支援体制整備事業」主な取組

	圏域名	内 容	地域づくり部会開催回数
1	橋 本	○ 居場所づくり ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、コロナ禍でもできる活動としてお便りの発行や散歩等を提案・助言した他、集いの場の再開方法について助言を行った。 ・ 百歳体操（1か所）の立上げ準備	2回
2	相 原		
3	大 沢	○ 居場所づくり コロナ禍で休止となっている通所型シニアサポート活動2団体については、再開に向けてのスタッフ会議の開催を促した。 ○ 部会活動情報紙「おおさわの風」1回発行	1回
4	城 山	○ 外出支援 ・ 外出支援検討の場「お出かけの“わ”委員会」の開催 ・ 社会福祉法人城山楽寿会の協力による高齢者等サロン参加者送迎（サロン休止に伴い中止） ○ 第7期高齢者保健福祉計画の振り返りと今後の方向性の検討	1回 作業部会 1回
5	津久井	○ 課題 ・ 今後の検討テーマについて、アンケートを実施	1回 (書面開催)
6	相模湖	○ 居場所づくり ・ 通所型シニアサポート活動(上町太極拳桂愛好会サロン)を新たに立ち上げ ○ 生活支援 ・ 訪問型シニアサポート活動「ちょこっとボランティア相模湖」を新たに立ち上げ	2回
7	藤 野	○ 外出支援・買物支援 ・ 「藤野台課題検討会」の開催、地域課題の検討を行った。 コロナ禍で一時期休止となることもあったが、十分な感染予防を施し、藤野台住民の移動外出支援として買物ツアー、「ももちゃんサロン」を月2回実施。 ○ 見守り活動 ・ 地域のゆるやかな見守りの自治会説明 ・ 商店・事業所等の見守り推進に向け、26店舗にステッカーの配布 ※コロナ禍のため見守り活動を大きく広げることが出来なかったが、上記の見守り活動が機能し、高齢者支援センター等に有意な情報が寄せられた。	1回 藤野台課題検討会 8回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
8	小 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「コロナ禍でも出来る移動支援」「新型コロナウイルス感染症収束後での移動支援ニーズ」について意見集約 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ おやま一歩の会がシニアサポート活動（訪問型）を実施 ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区団体へ、コロナ禍での活動について情報提供と支援 	<p style="text-align: right;">1回</p> <p style="text-align: center;">書面会議</p> <p style="text-align: right;">1回</p>
9	清 新	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアサポート活動（通所型）「ひばり百歳体操と麻雀の会」を新たに立ち上げた ・ 「百歳体操」を15か所で実施 ・ 「サロン・ボランティアグループ連絡会」を開催し、事業所職員とサロン主催者との意見交換会を行った ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょこボラ」がシニアサポート活動（訪問型）を実施 ○ 担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「サロン・ボランティアグループ連絡会」や「住民説明会」、福祉講座等の参加者をボランティア活動者リストとして管理し、随時情報提供ができる状況を整備した ・ 令和元年度清新地域づくり部会報告書の作成 ・ 「住民説明会」開催（圏域内6か所・80名参加） 	6回
10	横 山	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買物支援・居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業と連携した「移動販売」拠点を活用した地域の見守り合いや居場所の充実化を検討 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ シニアサポート活動訪問型（1か所）を新たに立ち上げ ○ 地域情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり部会だより「ALL横山かわら版」の発行 ○ 地域ニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内高齢者500名を対象に「フレイル予防アンケート」を実施 ○ 医療・福祉施設と地域住民とのネットワーク化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・福祉施設従事者を対象にコロナ禍でのアンケート調査を行い、地域住民を交えたオンライン交流会を開催。施設間の情報共有及び地域との顔の見える関係づくりを行った。 	4回 作業部会 4回
11	中 央	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「小地域のお出かけマップ」を活用したウォークラリーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月に地域づくり部会だよりを発行し、活動を周知。 ○ コロナ禍における各種団体の取り組みを情報共有 ○ 第7期高齢者保健福祉計画の振り返りと今後の方向性の検討 	1回 打ち合わせ会 2回
12	星が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域における見守り体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りが必要な人の意識を高める仕組みづくりの検討 ・ 地域でお互い様に見守り合える仕組みづくりの推進 ○ 地域の人材発掘 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍で「手作りマスク」づくりの人材発掘 ・ 第7期高齢者保健福祉計画の振り返りと今後の方向性の検討 	1回 書面会議 2回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
13	光が丘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり ・ 百歳体操の推進・コロナ禍での活動再開に向けた検討 ○ 買い物支援 ・ 光が丘買い物お助け隊の活動支援・課題対応 ○ 新たな課題 ・ 高齢者の大型ゴミ処理、運搬 ・ 老人クラブ会員数減少に関すること 	1回 作業部会 5回
14	大野北 第1	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍でもできることの検討 ○ 今後の方向性に向けての検討 	7回
15	大野北 第2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域情報の発信 地域づくり部会通信（第3号）の発行 	
16	田 名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり ・ 「訪問型シニアサポート活動」の立ち上げ支援 ・ ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を地区社協・老人クラブ・公民館と協力し、推進。小学生との多世代交流事業を実施 ・ 農作業の場「田名ふれあい交流農園」活動支援 ○ コロナ禍における各種団体の取り組みを情報共有 ・ 第7期高齢者保健福祉計画の振り返りと今後の方向性の検討 	1回
17	上 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相談窓口づくり ・ 「高齢者相談つなぎの家」実施 ○ 困りごとの整理 ・ 「認知症・物忘れ」「交流・見守り」「情報伝達」について意見交換 	5回
18	大野中	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査 ・ 古淵地区在住の高齢者を対象に「困りごとアンケート調査」実施 ・ 鶴野森地区在住の高齢者を対象とした「困りごとアンケート調査」に向けた検討 ○ 地域情報の提供 ・ 住民情報の情報収集、発信 ○ 地域との連携 ・ 「～みんなつながる～おおのなかでできること宣言」協力事業所（10か所） 	2回
19	大 沼	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域情報の提供 ・ 住民活動の訪問と情報の収集・発信 ○ 居場所づくり ・ 老人福祉センター「若竹園」での「百歳体操」実施に向けての調整 ○ 見守りの啓発 ・ 単位自治会区をモデル地区として、地域意識アンケートを踏まえて実施する「見守りの勉強会」について検討 	2回
20	大野台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり ・ 高齢、障がいの分野を越えた「共生カフェ」実施に向けて検討 ○ 買い物支援 ・ 買い物支援がとくに必要と想定される3自治会を対象に実施したアンケート調査をもとに、支援方法について検討 ○ 地域情報の提供 ・ 住民活動の情報収集・発信 	2回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
21	大野南	<ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症カフェ「さがっばと Teatime」運営者と連携し、オンライン会議による定例ミーティングや社会福祉シンポジウムの支援 ○ 啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症家族の会や学生、高齢者支援センターと連携し、相模大野図書館で「情報発信コーナー」設置による認知症に関する啓発 ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり部会委員へ向け、地域の困りごとや新しい生活様式に合わせた地域活動のアイディアをアンケート調査 	2回
22	上鶴間	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域づくり部会委員と地域課題や取り組んでいきたい活動を整理し、第8期高齢者保健福祉計画の取組方針を検討 ・ 集合住宅の実態把握 ○ 買い物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動販売誘致について検討 ○ 担い手づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぞうきんプロジェクト」実施による、世代間交流のきっかけづくり 	2回
23	麻 溝	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外出支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動に困難な地域を対象に、具体的な買い物先や通院先をヒアリング。ヒアリング結果をもとに、試行的な車両運行を検討 ○ 高齢者サロン等、地域の居場所を関係団体で推進する方策について検討 ○ コロナ禍の介護予防として、自宅で取り組める介護予防ニュースレターを介護予防団体と作成 ○ 感染に配慮したつながりづくりとして、オンライン認知症カフェを開催 	2回
24	新 磯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 買い物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でも地域の方に活用いただける情報（地域のテイクアウトを行っているお店や出張理美容を行っている理美容店の情報等）を発信するため、「あらいそ知ってお得な情報紙」を発行 ○ ささえあいの仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワークの方より「移動困難者の概況・制度と地域の取り組み」について勉強会を実施 ○ 昨年に引き続き、介護保険事業所等連絡会による徒歩での外出支援として、ベンチの設置やトイレ利用のマークの掲示を行った。 ○ 新磯健康づくりポイント事業の準備期間として、新たな協力店舗等への協力依頼や協力店舗等へ次年度の事業内容についての意見収集を行った。 	4回

	圏域名	内 容	地域づくり 部 会 開 催 回 数
25	相模台 第 1	<p><相模台第1・相模台第2 合同></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉事業所等と連携した居場所「ふらっと相模台」登録事業所の連絡会開催 ・外出時の休息に活用する「ベンチ」の事業所、店舗等の設置促進（設置趣旨表示「ステッカー」配布、ベンチマップの作成等） ・高齢者の運動や外出促進を目的とした健康講座及びウォーキングラリーの開催 ○ 部会情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域づくり部会だより」の自治会配布 	合同 2回
26	相模台 第 2	<p><相模台第1></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見守り活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチや福祉の掲示板の設置等、サウザンロード商店街と連携して各店舗への理解と協力を働きかけ、実施 ・「気になる人」の早期発見・情報共有のための「チェックリスト」作成 <p><相模台第2></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防 <ul style="list-style-type: none"> ・相模原市歯科医師会と連携し、口腔ケアの地域啓発活動について検討 ○ 買物支援 <ul style="list-style-type: none"> ・相模台団地内での野菜販売会を検討 	相模台第1 2回 相模台第2 2回
27	相武台	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の構成員を対象とした困りごとの相談内容の調査を実施 ○ 活動方針検討 <ul style="list-style-type: none"> ・第7期保健福祉計画の振り返りとそれを元にした第8期計画の方針を検討 <p>地域課題について地域づくり部会員の情報共有と今後の活動を検討</p>	1回
28	東 林 第 1	<p><東林第1></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における高齢者実態調査を実施 ○ 部会活動の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・『マンションで暮らす高齢者のための取り組み事例集』の発行 ○ 交流 <ul style="list-style-type: none"> ・相模大野ハイツ・上鶴間中学校吹奏楽部クリスマス野外コンサートの実施 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・シニアサポート訪問型東林フレンドリーの会の運営、活動支援 ○ 孤立防止 <ul style="list-style-type: none"> ・東芝林間病院・かもめ薬局との連携による『フットケア相談会』の開催 	2回
29	東 林 第 2	<p><東林第2></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 担い手 <ul style="list-style-type: none"> ・『8050問題』の理解と長期化・深刻化しないための地域の役割を学ぶためのオンライン研修会を開催 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の生活支援の取組状況の報告とゴミ出し支援のしくみづくりの検討 ○ 見守り <ul style="list-style-type: none"> ・犬の散歩支援を通じて、地域から孤立しがちな高齢者の見守り活動と『8050問題』などひきこもりがちな方の地域交流活動を実施 	3回

③ あんしんセンター事業

従来から取り組む権利擁護事業に併せて、成年後見制度の利用促進事業の強化を図ることを目的に、「さがみはら成年後見・あんしんセンター」にて、権利擁護に係る総合的な事業推進に取り組んだ。

1 法人後見事業

(自主)8,818,000円

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方を対象に、家庭裁判所の審判による成年後見人等として、被後見人等の財産管理及び身上保護等の法定後見業務を行った。

初回相談・継続相談件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
初回相談	3 件	4 件	1 件	1 件	1 件	9 件
継続相談	1 件	5 件	1 件	1 件	1 件	6 件

支援件数

内 容	件 数
訪問等による直接支援	398 件
訪問以外の相談、連絡、調整等	1,543 件

受任件数（令和3年3月末）

類 型	認 知 症 高 齢 者 等	障がい者		合 計
		知 的	精 神	
後 見	11 件	2 件	2 件	15 件
保 佐	2 件	4 件	3 件	9 件
補 助	1 件	1 件	1 件	3 件
合 計	13 件	6 件	5 件	24 件

権利擁護事業審査会の開催

回 数	内 容
年 4 回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討 ※令和2年5月25日（月）第1回権利擁護事業審査会、令和3年1月25日（月）第5回権利擁護事業審査会は、開催を中止し書面での審査に変更

○ 職員体制：法人後見専門員 3人

2 権利擁護事業

(補助・自主) 31,249,151 円

1) 日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な障がい者・高齢者のために、福祉サービスの契約手続や日常生活費の出し入れ、公共料金等の支払代行、定期預金通帳などの重要書類の預りを行った。また、毎月第4火曜日に、弁護士による人権や財産に関する権利擁護相談を実施した。

相談援助件数

内 容	本事業の利用に関するもの					合 計
	認知症 高齢者等	障がい者			その他 不 明	
		知 的	精 神	身 体		
問合せ	18 件	3 件	5 件	2 件	7 件	35 件
初回相談	76 件	8 件	49 件	8 件	14 件	155 件
相談援助	3,973 件	797 件	4,270 件	76 件	212 件	9,328 件
合 計	4,067 件	808 件	4,324 件	86 件	233 件	9,518 件

利用契約者数（令和3年3月末）

区 分	認知症 高齢者等	障がい者			その他	合 計
		知 的	精 神	身 体		
① 福祉サービス利用援助・ 日常的金銭管理サービス	58 人	23 人	69 人	7 人	2 人	159 人
② 書類等預かりサービス	2 人	7 人	6 人	2 人	— 人	17 人
③ ①②サービスの両方契約者 (利用者数は、重複)	2 人	3 人	6 人	1 人	— 人	12 人
実利用者数(令和3年3月末)	58 人	27 人	69 人	8 人	2 人	164 人

権利擁護相談件数

内 容		高齢者	障がい者			合 計
			知 的	精 神	身 体	
財産関係	相続・遺言	17 件	2 件	— 件	— 件	19 件
	財産管理	3 件	— 件	— 件	— 件	3 件
	金銭・消費契約	2 件	2 件	1 件	2 件	7 件
	その他	2 件	— 件	1 件	— 件	3 件
人間関係	婚姻・離婚	1 件	— 件	1 件	— 件	2 件
	家族・親類	2 件	2 件	— 件	— 件	4 件

生活関係	日常生活の問題	1件	1件	1件	1件	2件
権利擁護 関係	成年後見制度全般	3件	1件	2件	1件	6件
	その他	1件	1件	1件	1件	1件
合 計		31件	7件	6件	2件	46件

権利擁護事業審査会の開催（再掲）

回 数	内 容
年 4 回	契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等について検討 ※令和 2 年 5 月 25 日（月）第 1 回権利擁護事業審査会、令和 3 年 1 月 25 日（月）第 5 回権利擁護事業審査会は、開催を中止し書面での審査に変更

権利擁護事業内部審査会の開催

回 数	内 容
年 11 回	審査会で諮るべき事案に当てはまらない新規案件について、契約締結能力の審査、契約者等への処遇方法等の検討

連絡会等の開催

会議名	回 数	内 容
日常生活自立支援事業担当者・ 専門員・生活支援員連絡会	年 3 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換
日常生活自立支援事業担当者・ 生活支援員連絡会	年 1 回	日常生活自立支援事業について連絡・周知・情報交換

普及啓発事業等

区 分	内 容
あんしんセンター事業説明会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催自粛
あんしんサポーター制度の実施	登録者 7 人（市民後見人養成研修修了者が対象） 養成研修修了者の意欲等の向上を図り、日常生活自立支援事業利用者の社会関係をより豊かにすることを目的に、成年後見人等を受任するまでの間、権利擁護に係るボランティアとして活動する場を提供 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動は、中止

- 職員体制：あんしんセンター専門員 6 人、あんしんセンター生活支援員 7 人

2) 成年後見制度利用促進事業

福祉・法律の専門職等の権利擁護に関わる関係団体とのネットワーク構築を進め、成年後見制度の周知・普及啓発、相談支援等により制度の利用支援を図った。

ア 成年後見制度に関する相談の実施

職員対応による一般相談

認知症 高齢者等	障がい者			その他	合計
	知的	精神	身体		
253件	52件	59件	7件	34件	405件

相談の内訳

相談種類		合計
後見制度 利用前相談	制度内容	144件
	申立て手続	181件
	講座・研修依頼	2件
	その他	8件
	小計	335件
後見制度 利用後相談	財産管理	7件
	身上保護	4件
	その他	14件
	小計	25件
その他		45件
合計		405件

イ 成年後見専門相談の実施

月4回、親族後見人や福祉施設等の職員として成年後見制度に関わる方を対象に、司法書士等による成年後見制度や成年後見人等の業務に関する相談を実施

○ 相談件数：72件

ウ 成年後見制度等の説明会への講師等派遣

地域で開催される講座や説明会に専門職講師の派遣等を行い制度の普及啓発を行う予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、派遣の依頼はなかった。

エ 成年後見制度に関する無料相談会の実施

年3回、市民を対象に成年後見制度に関する専門職による無料相談会を実施

無料相談会開催実績

	開催区	開催月日	開催場所	参加者数
第1回	中央区	令和2年10月3日(土)	あじさい会館	6人
第2回	南区	令和2年11月21日(土)	南保健福祉センター	14人
第3回	緑区	令和2年12月12日(土)	緑区合同庁舎	10人
合 計				30人

無料相談会対応専門職実績

	専門職					合計
	弁護士	司法書士	行政書士	社会福祉士	税理士	
第1回	2人	2人	1人	1人	1人	7人
第2回	2人	2人	4人	4人	2人	14人
第3回	2人	2人	2人	2人	1人	9人
合 計	6人	6人	7人	7人	4人	30人

3 市民後見人養成事業

(受託) 9,105,654 円

成年被後見人等に対して、地域の身近な存在である市民が社会生活の中で培った経験を生かした後見活動を担えるように市民後見人養成研修を実施した。

1) 市民後見人養成研修

ア 6期生対象：市民後見人養成研修説明会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止

イ 6期生対象：市民後見人等選考委員会の実施（選考委員6人）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止

ウ 5期生対象：市民後見人養成研修「実務研修」「実践研修」の実施

	開催月日	受講者数	修了者数
実務研修	令和2年8月4日（火） 修了試験（面接）の実施	7人	7人

エ 5期生対象：市民後見人養成「現場研修」の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止

オ 5期生対象：市民後見人養成研修修了式

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現場研修を行わなかったため実施せず

2) 市民後見人受任調整会議

ア 市民後見人受任調整会議の実施

受任依頼案件なし

イ 市民後見人の受任状況

類型	令和元年度末 受任件数	新規受任件数	受任終了件数	年度末受任件数
後見	15人	1人	2人	14人
保佐	2人	—人	—人	2人
補助	—人	—人	—人	—人
合計	17人	1人	2人	16人

3) 市民後見人への相談及び事務支援

- 市民後見人受任後の活動について、後見事務支援及び相談援助を実施
- 受任後1年間は、毎月面談を実施（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、電話にて対応）

4) 市民後見人養成研修修了者へのフォローアップ研修（1期～4期生）

開催月日		参加人数	内容
第1回	令和2年12月15日（火）	24人	「活動上の課題について」 講師 社会福祉士
第2回	令和3年3月23日（火）	26人	「後見人の死後事務 理論と実務」 講師 行政書士
第3回	※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止	—	—

④ 在宅福祉推進事業

1 ひとり暮らし高齢者等給食サービス事業

(受託・自主) 67,192,660 円

調理・買物が困難な在宅のひとり暮らし高齢者等に週4回(月・火・木・金)を上限に給食を配食することにより、食の確保、安否確認、孤独感の解消を図った。

利用者の状況					調理食数(実施日数 203日)	
地域	登録者	実利用者	新規	廃止	地域	調理食数
緑区	144人	93人	39人	40人	緑区	12,837食
中央区	87人	77人	7人	29人	中央区	15,793食
南区	117人	111人	11人	53人	南区	21,124食
合計	348人	281人	57人	122人	合計	49,754食

利用者宅へ給食を手渡しで届ける市民参加による「配食協力員」は、城山、津久井、相模湖及び藤野地区を除く18地区で活動

配食協力員等の状況

区分	内容
配食協力員	142人
配食拠点	36か所

1) 行事食の実施

行事食の提供に際しては、多様な団体、市民の協力により実施

「クリスマス」行事食

- 給食の配食に合わせて、「令和3年カレンダー」を贈呈。「カレンダー」には、相模女子大学中学部・高等部書道部による書や絵手紙サークルによる季節の絵等が提供され、いるかバンク登録者等が製本作業等に参加



2) 職員体制

職名	人数
ふれあいサービス相談員	6人

3) 配食協力員通信等の発行

配食協力員に向け、活動の心構えや注意事項、行事食の報告等を発信

配食協力員通信等の発行状況

発行月等	内容	配布対象
令和2年6月	・食中毒予防について ・熱中症予防について	利用者・配食協力員
11月	・感染症対応について ・悪天候、災害時の給食サービスの中止について	
12月	・クリスマス給食の報告	配食協力員

4) その他

・緊急事態宣言の発令に伴い、配食協力員による配食活動を中止。その間、調理業者である宅配クック123及びかわせみの家に配食を依頼した。(4月～6月・1月～3月)

2 福祉用具無料貸出事業

(自主) 50,186円

一時的に福祉用具を必要とする市民を対象に福祉用具の貸出しを行った。

福祉用具貸出状況

区分	障がい者	高齢者	傷病	福祉団体	その他	合計
貸出件数	29件	446件	287件	3件	8件	773件
貸出点数	29点	446点	288点	8点	12点	783点

3 相模原身体障害者用福祉車両（あじさい号）運行事業

（受託）35,686,824 円

車椅子利用者等の送迎サービスとして、リフト付き福祉バス（あじさい号）の運行を実施した。（運行拠点：あじさい会館 2・3 号車、南区事務所 4 号車）

※令和 2 年度末で受託事業終了

運行状況

※申込件数 1,413 件

号車区分	運行日数	利用状況			
		障がい者	介護者	計	1 日平均
あじさい 2 号車	293 日	397 人	254 人	651 人	2.2 人
あじさい 3 号車	293 日	428 人	291 人	719 人	2.5 人
あじさい 4 号車	293 日	438 人	198 人	636 人	2.2 人
合 計	879 日	1,263 人	743 人	2,006 人	2.3 人

行先・利用目的

号車区分	行先区分		利用目的						
	市内	市外	医療	買物	行事	手続	施設	その他	計
あじさい 2 号車	370 人	27 人	312 人	40 人	- 人	3 人	37 人	5 人	397 人
あじさい 3 号車	396 人	32 人	336 人	36 人	- 人	1 人	44 人	11 人	428 人
あじさい 4 号車	394 人	44 人	269 人	52 人	2 人	6 人	93 人	16 人	438 人
合 計	1,160 人	103 人	917 人	128 人	2 人	10 人	174 人	32 人	1,263 人

4 津久井地域移動支援サービス事業

（受託・自主）39,211,912 円

津久井 4 地域事務所管内において、公共交通機関を利用することが困難な方への移送サービスを実施した。※令和 2 年度末で受託事業終了

1) 津久井地域障がい者移動支援サービス事業実施状況

区 分	累 計
運行日数	245 日
利用延べ件数	4,163 件
利用延べ人数	914 人

2) 津久井地域高齢者移動支援サービス事業実施状況

区 分	累 計
運行日数	245 日
利用延べ件数	5,992 件
利用延べ人数	1,716 人

5 ファミリー・サポート・センター事業

(受託) 20,019,560 円

安心とゆとりをもって子育てができるよう、会員制による有償の子育て支援事業を行った。ひとり親で児童扶養手当受給世帯には、謝礼の半額助成を実施。

福祉的な課題を抱える世帯が増加傾向にあり、他機関・事業との連携のもと支援を行った。

また、入会説明会、援助会員講習会及び援助会員随時研修会については、緊急事態宣言の発令に伴い、一部中止とした。なお、利用会員登録希望者に対しては、個別に事業説明を行い、登録を受け付ける等の対応をした。

会員登録状況

区 分	会員数
利用会員	2,100 人
援助会員	625 人
両方会員	62 人

活動状況

各種活動実績	
利用実人数	280 人(両方会員 9 人含む。)
援助会員活動実人数	163 人(両方会員 10 人含む。)
利用(活動)回数	6,426 回

※ 両方会員：利用会員、援助会員両方に登録している人

会員拡充の取組

区 分	開催回数	参加者数等
入会説明会	20 回(毎月 3 区開催)	272 人
援助会員講習会	1 回(1 コース 3 日間×南区開催)	26 人

会員研修等の取組

区 分	開催回数等	内 容	参加者数等
援助会員随時研修会	1回（中央区開催）	小児救命救急講習 講師：相模原市赤十字奉仕団	1人
会報「子育てサポート さがみはら」発行	第33号 （令和2年9月）	・新型コロナウイルス感染症予防対策について ・援助会員講習会等募集 ・センターからのお願い	3,500部
会報「子育てサポート さがみはら特別号」 発行	令和3年1月	・サポートの様子 ・会員からの声等 ・センターからのお願い	3,500部

活動内容

区 分	年 間 累計件数	月平均 件 数
保育所・幼稚園の送迎、登降園前 後の預かり	1,557件	130件
学校の送迎及び登校前、帰宅後の 預かり等	1,506件	126件
児童クラブの送迎、前後の預かり	724件	60件
子どもの習い事等の場合の援助	1,138件	95件
その他	1,501件	125件
合 計	6,426件	536件

利用会員世帯年齢別児童数

年 齢	人 数	年 齢	人 数
0歳	96人	7歳	275人
1歳	234人	8歳	218人
2歳	299人	9歳	180人
3歳	392人	10歳	157人
4歳	358人	11歳	100人
5歳	333人	12歳	73人
6歳	326人	13歳以上	32人
		合 計	3,073人

ひとり親世帯等助成実績（登録者：28人 活動者：28人）

年間延べ利用者数	年間延べ活動者数	助成件数	助成時間	助成金額
80人	80人	668件	1,655時間	608,675円

幼児教育・保育無償化実績

利用証明書発行件数
10件

職員体制

職 名	人 数
ファミリー・サポート・センター推進員	1人
ファミリー・サポート・センターアドバイザー	4人



6 生活福祉資金の貸付事務

(受託) 48,203,600円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収した世帯への特例貸付を行った。また、低所得世帯及び障がい者等の世帯に対し、民生委員・児童委員の援助のもとで、福祉資金や教育支援資金などの貸付けを行った。

貸付決定の状況

資金名	資金の内容	件数	貸付金額
福祉資金	障がいのある方の自動車購入に係る資金、エアコン設置に係る資金、転居に係る資金等	11件	5,782,000円
緊急小口資金	緊急かつ一時的な生計維持困難世帯への生活資金	1件	80,000円
教育支援資金	高等学校・短期大学・大学・専門学校の授業料等の資金	34件	24,045,000円
総合支援資金	失業者等、生活の立て直しのために必要な資金	1件	73,000円
合 計		47件	29,980,000円

貸付決定の状況

資金名	資金の内容	相談件数	申請件数
緊急小口資金（特例）	新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収し、緊急・一時的に生活費が必要な世帯への資金。	24,185 件	5,025 件
総合支援資金（特例） 延長・再貸付け等含む	新型コロナウイルス感染症の影響を受け減収し、生活再建までの間の生活費が必要な世帯への資金。	19,892 件	3,550 件
合 計		44,077 件	8,575 件

7 生活資金一時貸付事業

（補助・自主）804,990 円

他からの借入が困難で、一時的に生活が困窮している世帯に対し、生活資金の貸付けを行い、世帯の経済的支援を行った。

貸付決定の状況

資金名	貸 付 金		償 還 金	
	件 数	貸付金額	件 数	償還金額
生活資金	8 件	602,000 円	121 件	724,000 円
修学資金	－件	－円	20 件	180,000 円
高校等通学資金	－件	－円	9 件	4,500 円
合 計	8 件	602,000 円	150 件	908,500 円

1) 滞納者に対する督促等の状況

- 督促状の発送：2 回
- 督促者数：延べ 328 件

2) 借受滞納者償還免除（欠損処分）

- 借受人が死亡、又は最終償還期限到来後 10 年以上経過しても借受人より償還させることが困難である人等
- 対象者：4 人
- 免除額：263,000 円

運用状況

令和元年度末	令和2年度			
年度末貸付金 A	貸付金 B	償還金 C	償還免除額 D	年度末貸付金 A+B-C-D
10,501,750 円	602,000 円	908,500 円	263,000 円	9,932,250 円

8 要援護世帯生活資金貸付事業

(自主) 4,569,000 円

生活保護の申請に至った要援護世帯へ、生活保護費支給日までのつなぎ資金として生活資金の貸付けを行った。(貸付限度額 5 万円)

- 貸付件数 : 380 件

9 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

(補助) 7,729,049 円

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金の貸付けを行った。

- 貸付件数
 - ・ 入学準備金 : 8 件 4,000,000 円
 - ・ 就職準備金 : 6 件 1,200,000 円

10 社会福祉事業振興資金貸付事業

(自主) 553,528,176 円

民間社会福祉事業の振興策として社会福祉施設の建設資金等貸付金の償還管理等を行った。

- 令和2年度末借入施設数：15 施設
- 貸付金元金残高：490,201,000 円

法人名	貸付日	貸付年度	貸付金額	償還回数	償還額内訳	
					償還済額	元金残高
(福)せんだん保育園	H16.4.27	H15	17,200,000 円	17/20	14,620,000 円	2,580,000 円
(福)県央福祉会	H16.5.11	H15	41,100,000 円	17/20	34,935,000 円	6,165,000 円
(福)菊清会	H17.5.31	H16	64,398,000 円	16/20	51,522,000 円	12,876,000 円
(福)さがみの福祉会	H19.2.27	H18	50,500,000 円	14/20	35,350,000 円	15,150,000 円
(福)大地の会	H19.5.30	H18	26,300,000 円	14/20	18,410,000 円	7,890,000 円
(福)ムクドリ福祉会	H20.4.25	H19	21,300,000 円	13/20	13,845,000 円	7,455,000 円
(福)相模福祉村	H20.4.30	H19	119,700,000 円	13/20	77,805,000 円	41,895,000 円
(福)東の会	H20.5.8	H19	49,900,000 円	13/20	32,435,000 円	17,465,000 円
(福)小山地域福祉会	H20.5.16	H19	88,500,000 円	13/20	57,525,000 円	30,975,000 円
(福)新日本学園	H20.5.16	H19	170,000,000 円	13/20	110,500,000 円	59,500,000 円
(福)清菊会	H21.4.14	H20	94,400,000 円	12/20	56,640,000 円	37,760,000 円
(福)東香会	H21.4.24	H20	52,800,000 円	12/20	31,680,000 円	21,120,000 円
(福)直源会	H23.4.18	H22	116,300,000 円	10/20	52,700,000 円	63,600,000 円
(福)蓬莱会	H24.6.6	H23	170,000,000 円	9/20	76,500,000 円	93,500,000 円
(福)報徳会	H24.6.15	H23	131,400,000 円	9/20	59,130,000 円	72,270,000 円
合 計			1,213,798,000 円		723,597,000 円	490,201,000 円

⑤ 住民参加推進事業

1 ふれあいサービス(有料家事援助サービス)事業

(自主) 3,629,974 円

高齢者・障がい者世帯等の自立支援を目的に、会員制による家事援助・介助サービスを行った。

相談件数の状況

区分	高齢	障がい	母子	父子	傷病	出産	その他	団体	合計
緑区	19件	14件	1件	1件	1件	6件	4件	1件	45件
中央区	46件	8件	1件	5件	10件	9件	6件	1件	85件
南区	83件	13件	3件	1件	2件	14件	3件	1件	118件
合計	148件	35件	5件	5件	13件	29件	13件	1件	248件

個人会員

年齢	区分	
	協力会員	利用会員
30歳未満	1人	2人
30～39	1人	3人
40～49	7人	5人
50～59	19人	1人
60～69	46人	16人
70～79	51人	47人
80～89	5人	134人
90歳以上	1人	42人
合計	129人	250人

※団体利用会員：1団体

活動状況

区分	年間累計	月平均
利用人数	1,100人	92人
活動人数	613人	51人
活動延べ回数	2,825回	235回
活動延べ時間数	2852.5時間	237.7時間

利用会員利用理由別内訳

区分		人数	
個人会員	高齢	身体障がい	15人
		知的障がい	1人
		精神障がい	6人
		認知症	9人
		傷病	80人
		その他	121人
		小計	231人
	障がい	11人	
	母子	1人	
	父子	1人	
	傷病	5人	
	出産	3人	
	その他	1人	
団体会員	1人		
合計	251人		

協力会員入会説明会

緑区		中央区		南区		合計	
参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数	参加者数	登録者数
7人	5人	2人	1人	7人	7人	16人	12人

※毎月3区で開催

職員体制

職名	人数
ふれあいサービス相談員	6人

2 要介護認定調査事業

(受託) 39,631,900円

介護保険に係る要介護認定調査（新規及び区分変更）を受託し、介護保険サービスの質向上を図った。また、相模原市からの介護認定調査依頼件数の大幅増に対応するなど、自主財源確保に努めた。

受託件数

委託元	件数
相模原市	4,692件
他市町村	43件

職員体制

職名	人数
介護認定調査支援員	2人
介護認定調査員	25人

3 介護支援ボランティア事業

(受託) 4,411,958円

登録した65歳以上の市民がボランティア活動を行った実績に基づきポイントを付与し、報償金を交付する介護支援ボランティア事業（さがみはら・ふれあいハートポイント事業）の一部を受託し、ボランティア活動の推進を図った。

1) 業務内容

- ア 介護支援ボランティアの登録
- イ 介護支援ボランティア活動手帳の発行
- ウ 介護支援ボランティア活動の調整
- エ 介護支援ボランティア活動の研修

登録者数

区分	登録者数
令和元年度末	1,395人
新規	25人
取消	64人
令和2年度末	1,356人

2) 登録説明会の開催

ボランティアセミナーとの同時開催 5 回

4 福祉従事者メンタルヘルス相談事業

(委託) 1,446,365 円

新型コロナウイルス感染症拡大時においても、事業を継続している介護サービス事業所、障がいサービス事業所及び保育所等の職員に対し、精神的負担の軽減を図るため、メンタルヘルス相談窓口を設置した。また、相談結果を匿名化・分析して、福祉事業所の各法人にフィードバックして運営支援を行った。

1) 業務内容

- ア 普及啓発
- イ 受付
- ウ 総合分析レポートの作成、フィードバック

2) メンタルヘルス相談対応

相談件数

相談月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	12件	21件	24件	22件	17件	96件

⑥ 市民福祉会館運営事業

(受託・自主)110,636,529円

1 あじさい会館管理運営事業

1) 開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	191日
利用料収入	4,880,944円

高齢者等福祉施設の利用状況 ※利用は、昼間（午前・午後）のみ

区 分 室 名	団 体			個 人
	件 数	回 数	利用者数	利用者数
第1和室	238件	330回	3,365人	
第2和室	59件	61回	311人	
第3和室	59件	61回	304人	
大和室	一件	一回	一人	1,330人
ボランティア活動室	354件	384回	2,662人	
合 計	710件	836回	6,642人	

一般利用施設の利用状況

区 分		利用件数	利用回数	利用者数
ホール		70件	112回	12,687人
展示室	第1展示室	258件	412回	7,673人
	第2展示室	237件	391回	4,882人
	小 計	495件	803回	12,555人
研修室		259件	297回	3,760人
講習室		194件	268回	3,138人
和 室	大和室	24件	24回	2,880人
	第1和室	21件	21回	995人
	第2和室	17件	17回	100人
	第3和室	5件	5回	14人
	小 計	67件	67回	3,989人
合 計		1,085件	1,547回	36,129人

2) 防災訓練の実施

災害時における会館利用者の安全確保のため、会館に勤務する職員等を対象に防災訓練等を実施した。なお、「消防総合訓練」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、参加者の限定等訓練内容を例年と変更して実施した。

防災訓練の実施状況

開催月日	内 容
令和2年10月27日(火)	あじさい会館防災訓練 館内消防設備機能習得及び防災訓練を実施 参加者：16名(新任及び異動職員等対象)
11月17日(火)	あじさい会館消防総合訓練 通報連絡、初期消火、避難誘導、救護訓練 参加者：26名

3) あじさい会館利用促進事業・福祉啓発事業等の実施

会館1階ロビーを活用した「パネル展示」、障がい者施設と協働で実施する「ワークショップ」、「ロビーコンサート」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とし、ロビーパネル展のみを規模、回数を縮小して実施した。

また乳幼児から高齢者まで誰もが気軽に楽しめる「クラシックコンサート」、終活をテーマにした「福祉講座」も同様の理由で中止とした。

ロビーパネル展(主なもの)

展示期間	内 容
令和2年3月23日(月) ～4月30日(木)	相模原市自閉症児・者作品展
5月11日(月) ～5月18日(月)	民生委員・児童委員活動パネル展
7月21日(火) ～8月3日(月)	NPO団体の活動紹介パネル展
8月28日(金) ～9月11日(金)	ボランティア・市民活動啓発パネル展
11月6日(金) ～11月12日(木)	介護写真展

4) あじさい会館の日・世界アルツハイマーデー普及啓発事業

当初、予定していたあじさい会館ホールでの映画会を中止し、特定非営利活動法人 Link・マネジメントとの協働により、認知症理解促進を目的にインターネット配信や J:COM、FM さがみ等の情報提供媒体を通じた各種啓発事業を実施した。

開催月	内 容
令和2年9月	「助けられ王国さがみはら～離れていてもつながっている～」 ・ミニ講演会「介護はつらい？楽しい幸せな介護」 講師：谷光章監督 ・認知症の方を支える家族の会の照会 ・あじさい会館の紹介

2 あじさい会館南分室（南保健福祉センター内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	186日
利用料収入	45,840円

高齢者等福祉施設の利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	252件	262回	3,864人
情報交換ルーム	75件	86回	907人
ボランティア活動室	183件	188回	1,586人
合 計	510件	536回	6,357人

一般利用施設利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	18件	18回	204人
情報交換ルーム	13件	15回	168人
合 計	31件	33回	372人

3 あじさい会館緑分室（緑区合同庁舎内）

開催日数及び利用状況等

高齢者や障がいのある方、母子・父子世帯及び各種団体、一般市民へ各施設の貸出しを行った。

区 分	日数等
開館日数	189 日
利用料収入	50,800 円

高齢者福祉施設等利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	289 件	295 件	3,219 人
情報交換ルーム	139 件	152 件	1,186 人
ボランティア活動室	50 件	56 件	416 人
合 計	478 件	503 件	4,821 人

一般利用施設利用状況

室 名	利用件数	利用回数	利用者数
高齢者交流室	22 件	22 件	418 人
情報交換ルーム	4 件	4 件	22 人
合 計	26 件	26 件	440 人

⑦収益事業

⑦ 収益事業

飲料水等販売・自動販売機等運営事業

（自主）12,478,520 円

飲料水等の販売及び自動販売機売上手数料収入等の収益を社会福祉事業の財源として活用した。

- 社会福祉事業への繰入金支出額： 11,160,000 円
- 市内公共施設への自動販売機設置
 - ・ 69 施設 96 台（うち、地域貢献型電光掲示板機能付自動販売機 47 台）